I·O DATA

WN-G54/CB 取扱説明書

131050-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継機、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、サービス名、ソフト名、製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

本製品を使うまでの手順

以下の流れにしたがって、本製品を使う環境をつくりましょう。

はじめにすること

セットアップする

必要なときに読むところ

応用操作、トラブル解決法、本製品の付属情報です。

応用編

その他

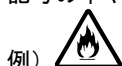
必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告及び注意表示

	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順で使用してください。

警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

ご使用のパソコンや周辺機器の電源を切って、本製品を取り外してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

指定されたスロットにきちんと差し込んでください。正しく装着されていないと、火災および故障の原因となります。

本製品の取り付け、取り外し、移動の際は、本製品の取扱説明書をご確認になり、正しい手順で行ってください。

感電および故障の原因となります。

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場、雨天・降雪中（屋外）、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

故障や異常のまま、通電しないでください。

本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り外してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

禁止

本製品を病院内で使用しないでください。

医療機器の誤動作の原因になることがあります。

厳守

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm 以上離して使用してください。

電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。

禁止

本製品を飛行機の中で使用しないでください。

飛行機の計器などの誤動作の原因になります。飛行機の中ではコンピュータのPC カードスロットから本製品を取り外してください。

禁止

日本国外で使用できません。

⚠ 注意

注意

本製品を使用する際に、取扱説明書などでの操作手順説明と異なった操作をしてデータが消失した場合は、データの保証は一切いたしかねます。

取扱説明書などで、操作方法を確認して操作してください。

また、故障に備えて定期的にバックアップを行ってください。

禁止

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

●振動や衝撃の加わる場所

●直射日光のあたる場所

●湿気やホコリが多い場所

●温湿度差の激しい場所

●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）

●強い磁力・電波の発生する物の近く
（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）

●水気の多い場所（台所、浴室など）

●傾いた場所

●腐食性ガス雰囲気中（$ＣＩ_2$、$Ｈ_2Ｓ$、$ＮＨ_3$、$ＳＯ_2$、$ＮＯ_X$など）

●静電気の影響の強い場所

●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所（保管は問題ありません）

禁止

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

●落としたり、衝撃を加えたり、無理な力を加えたりしない

●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない

●重いものを上にのせない

●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

本製品のコネクタ部分には直接手を触れないでください。

静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。

本製品でデータ通信中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

本製品で使用する電波について

本製品は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。
本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下および次ページの注意をご確認ください。

・以下の近くでは使用しないでください。

・電子レンジ／ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
・特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

上記の機器などは、無線LANと同じ電波の周波数帯を使用しています。
上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。
そのため、通信ができなくなったり速度が遅くなったりする場合があります。

・携帯電話/PHS/テレビ/ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください。

携帯電話/PHS/テレビ/ラジオなどは、無線LANとは異なる電波の周波数帯を使用しています。
そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの機器の通信に影響はありません。
ただし、これらの機器を無線LAN製品に近づけた場合は、本製品を含む無線LAN製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

・間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。

本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。
ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。
同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。

2.4GHz帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

・この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。

・万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

・その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：サポートセンター　電話：　金沢　076-260-3644
東京　03-3254-1144

使用上の注意

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては十分注意してください。

・取り扱い上の注意

・コネクタ部分に金属を差し込まないでください。
・ぬらさないでください。
・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、ノイズを与えることがあります。
・モータなどノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してお使いください。

・使用上の注意

・本製品はパソコンの「スタンバイ」、「スリープ機能」、「レジューム」、「ハイバネーション」には対応しておりません。
本製品を使用する場合は、これらの機能は無効に設定してください。

・他の無線LANアダプタとの併用について

・他の無線LANアダプタ製品と同時にセットアップすることはできません。すでに他の無線LANアダプタ製品を使用している場合は、本製品のセットアップをする前に、あらかじめ他の製品をアンインストールしておいてください。
（方法については、各製品の取扱説明書をご覧ください。）

・修理について

・本製品の修理は弊社修理センターにご依頼ください。
改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。

使う前に

ここでは、本製品を使う前の作業について、順を追って説明しています。

箱の中を確認する

内容物リストを確認します。

☞ 12ページ

▼

動作環境を確認する

本製品を使うことができる機種やOSなどを確認します。

☞ 13ページ

▼

各部のなまえとはたらき

本製品の各部のなまえとはたらきを確認します。

☞ 14ページ

箱の中を確認する

ご使用の前に以下のものがそろっていることを □ にチェックをつけながらご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

注意！

- 箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。
- イラストは若干異なる場合があります。

参考

《ユーザー登録やサポートソフトのダウンロードについて》

ユーザー登録をする際や、弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にシリアル番号が必要な場合があります。
シリアル番号は本製品に貼られているシールに印字されている12桁の英数字です。（ 例： ABC1234567ZX ）

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

●ユーザー登録 ⇒ **http://www.iodata.jp/regist/**
●サポートソフトのダウンロード ⇒ **http://www.iodata.jp/lib/**

動作環境を確認する

本製品の動作環境を確認します。

動作環境

CardBus規格に準拠したPCカードスロット(PCMCIA TYPEⅡ) を搭載し、
CD-ROMドライブ（インストール用）を搭載※1※2した下記の機種・OS

対応機種	対応OS
・NEC PC98-NXシリーズ ・DOS/Vマシン （弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしております。）	・Windows XP ・Windows 2000 ・Windows Me ・Windows 98 Second Edition

※1 CD-ROMドライブが無い場合は、75ページをご覧ください。
※2 PCカード接続のCD-ROMドライブを使用している場合は、75ページをご覧ください。

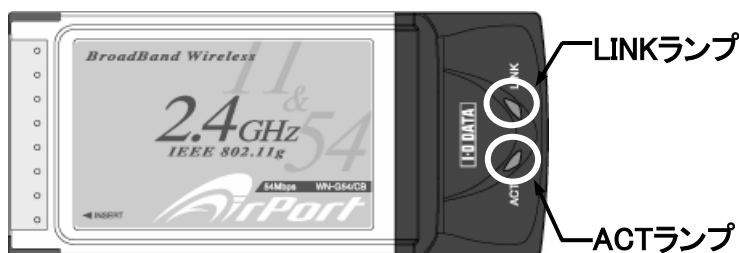
通信可能機器

IEEE802.11g※、IEEE802.11b準拠の無線LAN製品と通信できます。
有線LAN（LANケーブルで接続されたネットワーク）と接続するには、アクセスポイント（弊社製WN-G54/AXPなど）が必要です。
弊社製品例：WN-G54シリーズ
WN-B11シリーズ
WN-AGシリーズ
WN-ABシリーズ

※IEEE802.11gは2003年4月現在ドラフトです。IEEEによる正式承認後、弊社Webサイトにて正式にご案内いたします。
なお、本書内の「IEEE802.11g」という記述はすべて「IEEE802.11g(ドラフト)」を指します。

本製品は、以下とは通信できません。
- **弊社製 無線LAN WN-A54 シリーズ**
- **弊社製 無線LAN PC カード PCWN-W10**
- **弊社製 コードレスネットワークシンフォニーシリーズ（WN-S/560, WN-S/PCI, PCWN-S)**
- **弊社製 無線スイッチングハブ WNA-FSWH4**

各部のなまえとはたらき

各部のなまえとはたらきを確認します。

ランプ	状態 （インフラストラクチャモード、アドホックモード共通）
LINK	緑色で点灯：通信が確立している状態 緑色で点滅：通信が確立していない状態
ACT	緑色で点滅：データの送受信中 消灯：データの送受信が行われていない状態

●インフラストラクチャ(Infrastructure)モード
　無線LANアクセスポイント（無線LANブロードバンドルータ）経由で通信するモードです

●アドホック(Ad hoc)モード
　無線LANアダプタ同士で通信するモードです。

インストールする

本製品を使うためのセットアップをします。

①アクセスポイントを設置する

アクセスポイントの設置をし、アクセスポイントの設定などを確認します。

☞ 16ページ

▼

②ドライバをインストールする

本製品のドライバをインストールします。

☞ 17ページ

▼

③インストール状態を確認する

ドライバが正常に認識されていることを確認します。

☞ 24ページ

▼

④ユーティリティをインストールする

本製品を設定するための設定ユーティリティをインストールします。

☞ 28ページ

①アクセスポイントを設置する

無線LANアクセスポイントと通信する場合、次の手順にしたがってください。

1 アクセスポイントの電源を入れた状態で設置します。

アクセスポイントの設置方法については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

2 アクセスポイントの「SSID」(ESSID)とSSID通知機能の状態をメモします。

アクセスポイント取扱説明書をご覧になり、下に書き込んでください。

▼確認したSSID(ESSID)を記入してください。

SSID(ESSID)	
SSID通知	あり　　なし

※SSID通知機能の設定が無いアクセスポイントでは、常に有効となります。

3 アクセスポイントの[暗号キー]をご確認ください。

アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
暗号化されている場合は暗号キーをメモしてください。

はじめて、弊社製WN-G54/BBRなどのルータ機能を持つアクセスポイントを設定する場合は、ADSLモデムやケーブルモデムとつなぐ必要はありません。アクセスポイント側のインターネット接続に関しては本製品との無線接続が終了した後にアクセスポイント付属の取扱説明書を参照して設定を行ってください。

・SSIDとは？
複数の無線ネットワークが存在する場合に、それらをグループ化するための識別子（ID）です。SSIDが一致していないと、そのネットワークには参加できません。アクセスポイントによっては、SSIDがESSIDと記載されている場合もあります。

・SSID通知機能とは？
30ページの参考をご覧ください。

②ドライバをインストールする

本製品を接続する前に、ドライバをインストールします。

ここではまだ本製品を挿入しないでください。

下記の作業は、本製品をパソコンに挿入しない状態で行います。
本製品との接続は、下記の作業の後に行います。

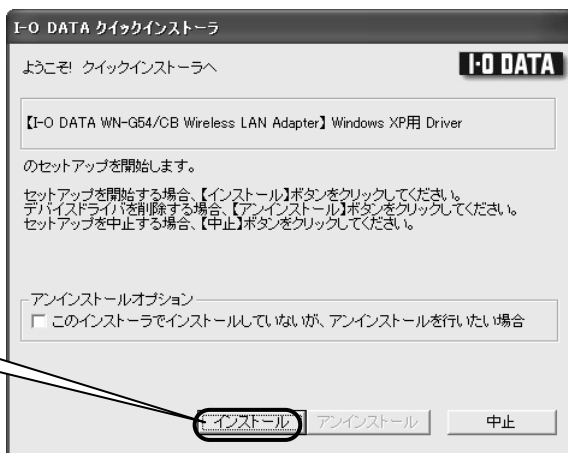
1 Windowsを起動します。

Windows XP/2000の場合は、管理者権限のあるユーザでログインします。

2 サポートソフトディスクをCD-ROMドライブにセットします。

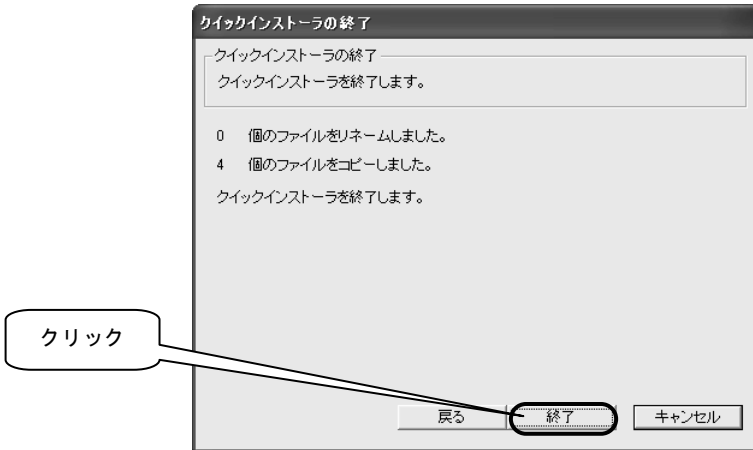
サポートソフトディスク

3 [マイコンピュータ]を開き、[WNG54CBxxx]（xxxはサポートソフトのバージョン）→[NDDSETUP]をダブルクリックします。

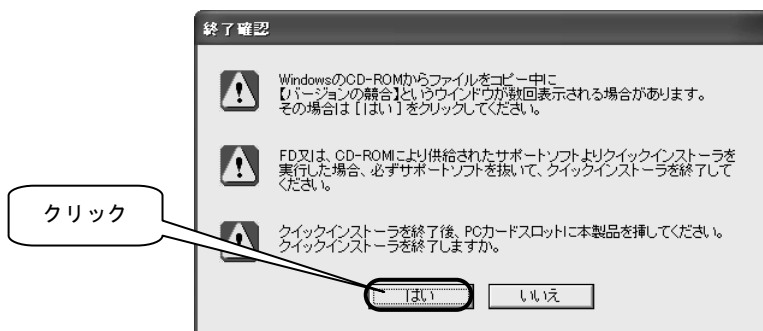
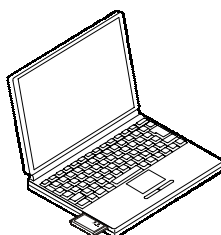
4 [インストール]ボタンをクリックします。

②ドライバをインストールする

5 [次へ]ボタンをクリックします。

6 [次へ]ボタンをクリックします。

7 [終了]ボタンをクリックします。

8 Windows Me/98 SEの場合は、以下の画面が表示される場合があります。［はい］をチェックして[OK]ボタンをクリックします。

上記の画面が表示された場合は、本製品装着後のOS起動時にWindows CD-ROMの挿入を要求されます。本製品装着前にWindows CD-ROMをお手元にご用意ください。

9 内容を確認して、CD-ROMを取り出し、[はい]ボタンをクリックします。

10 本製品のラベル面を上にして、PCカードスロットの奥まで挿入します。

PC カードスロットの位置は、お使いのパソコンによって異なります。
パソコンの取扱説明書をご覧ください。

この後、下記の該当ページへお進みください。

・Windows XPの場合…【Windows XPの追加作業】（次ページ）

・Windows 2000の場合…【Windows 2000の追加作業】（23ページ）

・Windows Me/98 SEの場合…【③インストール状態を確認する】（24ページ）

このとき挿入したPCカードスロット以外のスロットには挿さないでください。
本製品を他のスロットで使用する場合は、再度 17 ページからの作業が必要です。

Windows XPの追加作業

1 本製品装着後、下の画面が表示されますので、[ソフトウェアを自動的にインストールする]にチェックがついていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。

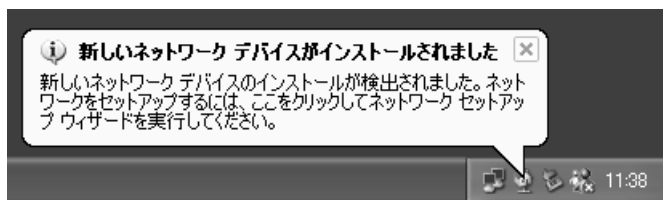
2 [続行]ボタンをクリックします。

弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。

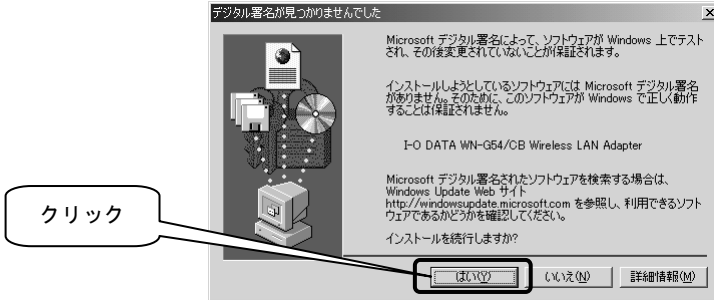
→マイクロソフト社は WHQL という組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。

Windows XPの追加作業（つづき）

3 [完了]ボタンをクリックします。

正常にインストールが終了すると、下記画面が表示されます。

この後、【③インストール状態を確認する】（24ページ）へお進みください。

Windows 2000の追加作業

1 本製品装着後、下の画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。

参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。

→マイクロソフト社はWHQLという組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。

この後、【③インストール状態を確認する】（次ページ）へお進みください。

③インストール状態を確認する

ここでは本製品が、正常に使用できることを確認する方法を説明します。

・Windows XP/2000の場合 ⇒ 以下の【Windows XP/2000での確認】参照
・Windows Me/98 SEの場合 ⇒ 26ページ【Windows Me/98 SEでの確認】参照

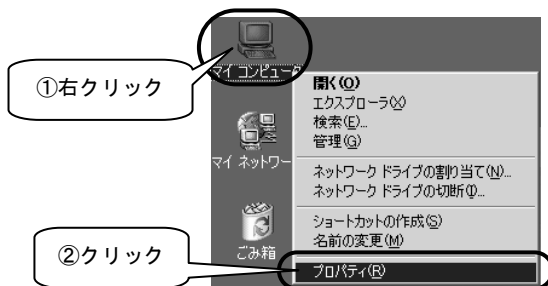
Windows XP/2000での確認

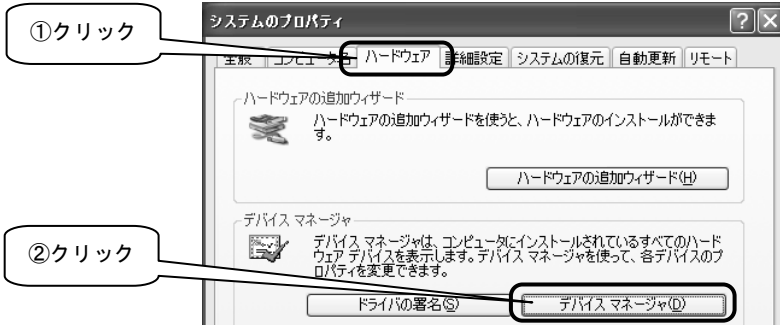
確認:[デバイスマネージャ]に本製品が正常に登録されていることを確認する

1 Windows XPの場合

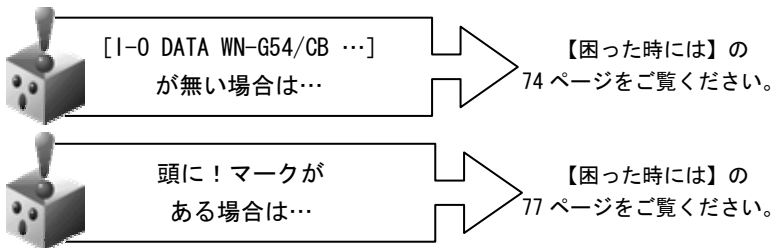
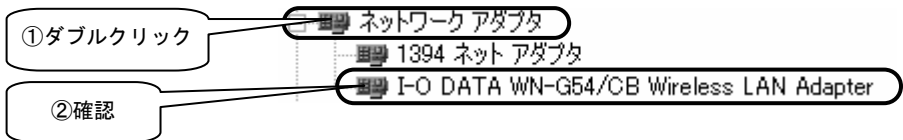
[スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

Windows 2000の場合

[マイコンピュータ]を右クリックし[プロパティ]をクリックします。

Windows XP/2000での確認（つづき）

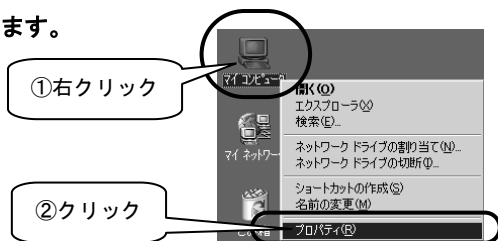
2 [ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

3 ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックします。

・［ネットワークアダプタ］の下に
［I-O DATA WN-G54/CB Wireless LAN Adapter］と表示されていることを確認します。

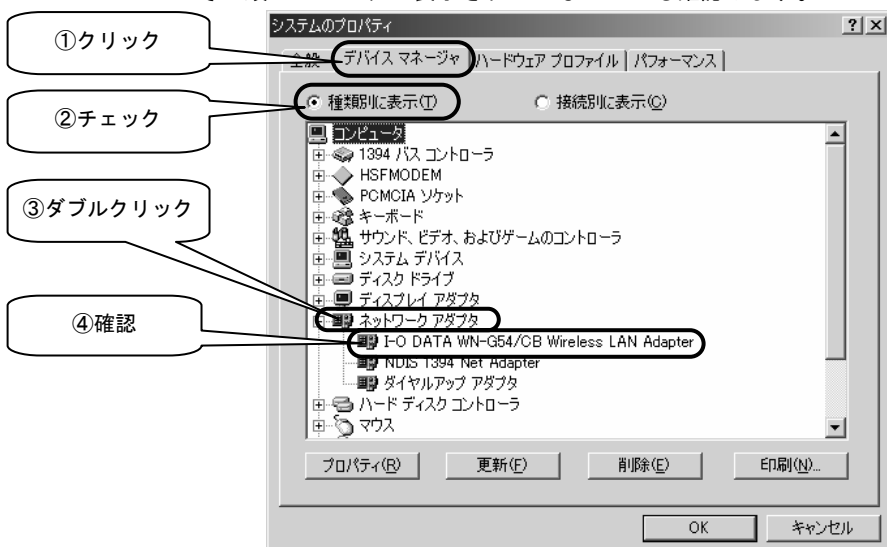
・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。

正常に表示されていれば、本製品が使用できます。

Windows Me/98 SEでの確認

確認:[デバイスマネージャ]に本製品が正常に登録されていることを確認する

1 ［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2 ［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［種類別に表示］で［ネットワークアダプタ］をダブルクリックします。

・［ネットワークアダプタ］の下に［I-O DATA WN-G54/CB Wireless LAN Adapter］と表示されていることを確認します。

・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。

Windows Me/98 SEでの確認（つづき）

PC98-NX シリーズで［デバイスマネージャ］が表示されない場合は、以下の手順で［アドバンスドモード］に設定してください。

①［スタート］→［プログラム］→［Cyber Trio-NX］（あるいは［NX ユーティリティ］、［NX の設定］）→［Cyber-Trio-NX セットアップ］を順に起動します。

②［アドバンスドモード］をチェックし、［OK］ボタンをクリックします。

③Windows を再起動します。

正常に表示されていれば、本製品が使用できます。

④ユーティリティをインストールする

注意！

・すでに他の弊社製WN-B11シリーズ設定ユーティリティをインストールしている場合は、本ユーティリティをインストールする前に削除しておいてください。（併用はできません。）
・ユーティリティは、管理者権限またはAdministrators権限のあるユーザのみが使用できます。管理者権限またはAdministrators権限を持たないユーザは、ユーティリティを使用できません。

1 [マイコンピュータ]内のCD-ROMアイコンをダブルクリックし、[UTILITY]フォルダ内の[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

2 画面の指示にしたがいます。

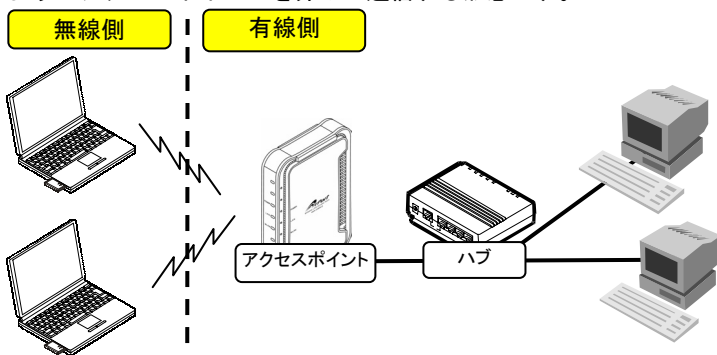
以上でユーティリティ（以下クイックコネクトと呼びます）のインストールは終了です。CD-ROMを取り出し、【アクセスポイントと通信する】（29ページ）へお進みください。

アクセスポイントと通信する

「インフラストラクチャ」モード

本製品とアクセスポイントを使用して通信するための設定をします。

インフラストラクチャモードとは?

図のようにアクセスポイントを介して通信する形態です。

●Administrators権限（管理者権限）のあるユーザのみが設定できます。Users権限のユーザは、Administrators権限（管理者権限）のユーザが設定した内容で通信できます。（設定変更はできません。）

●アクセスポイントを使用しない（無線LANアダプタのみで通信する）場合は、【無線LANアダプタのみで通信する】(39ページ)へお進みください。

●本製品の設定をする際に、Windows XP標準の「ワイヤレスネットワーク接続」は使用しません。設定はすべて、本製品の設定ユーティリティで行います。

インフラストラクチャの設定をする

アクセスポイントを介して通信する（インフラストラクチャモード）ための設定をします。

●ここで設定すること
アクセスポイントと通信する際は、本製品で以下の設定が必要です。
［SSID］や［暗号キー］が同じでないと通信できません。
本製品の設定の前にアクセスポイントの設定を確認しておいてください。

▼本製品に必要な設定

モード	［インフラストラクチャ］
SSID	16ページで確認した［SSID］
暗号キー	アクセスポイントと同じ［暗号キー］ （設定方法は【暗号化する】(51ページ)参照）

●接続するパソコンのネットワーク設定を、完了しておいてください。
詳しくはネットワーク管理者やアクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。

▼SSID通知の有無によって設定方法が異なります

下記の該当するページをご覧ください。

SSIDを通知しているアクセスポイントの場合 ……………………………次ページ

SSIDを通知していないアクセスポイントの場合 ………………………35ページ

『SSID通知機能』とは
アクセスポイントのSSIDを、無線LANアダプタへ通知する/しないを設定できる機能です。
不特定多数のアクセスを防ぐために、アクセスポイント側で「SSID非通知」に設定している場合があります。この場合、無線LANアダプタの設定時にSSIDを手入力する必要があります。

SSIDを通知しているアクセスポイントの場合

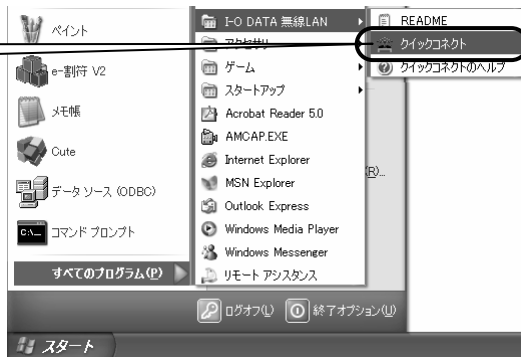
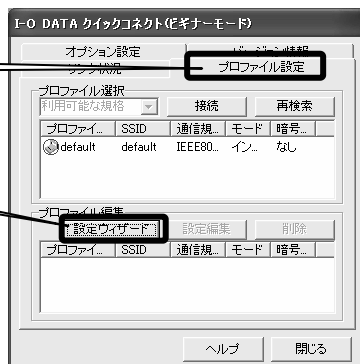
1 アクセスポイントの電源が入っていることを確認します。

2 本製品を装着したパソコンの電源を入れます。

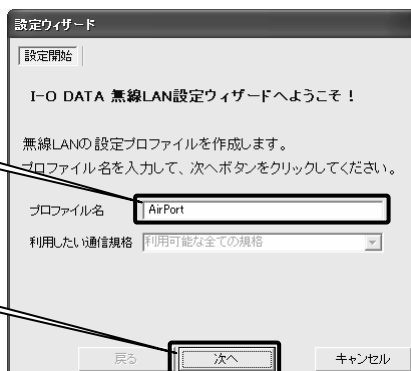
本製品のランプが点灯/点滅することを確認してください。

【困ったときには】の
74 ページをご覧ください。

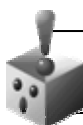
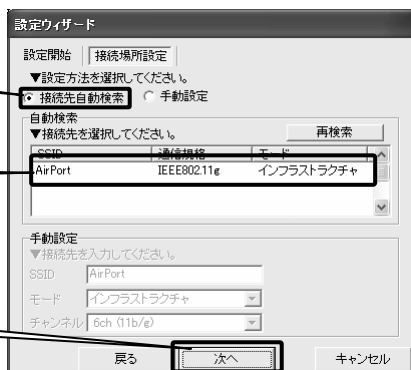
3 クイックコネクトを起動します。

［スタート］→［すべてのプログラム］（［プログラム］）→
［I-O DATA 無線LAN］→［クイックコネクト］を順にクリックします。

4 ［プロファイル設定］タブで、［設定ウィザード］ボタンをクリックします。

SSIDを通知しているアクセスポイントの場合(つづき)

5 [プロファイル名]を入力して、[次へ]ボタンをクリック染ます。

プロファイル名は半角文字100文字(全角文字50文字)までのお好きな名前を入力できます。

6 接続先を選びます。

①[接続先自動検索]にチェックが付いていることを確認します。

②16ページで確認したSSIDの接続先を選択します。

③[次へ]ボタンをクリックします。

接続先が見つからない場合は…

【困ったときには】の84ページをご覧ください。

SSIDを通知しているアクセスポイントの場合(つづき)

7 暗号化設定をします。

①暗号化レベルを選択します。

②アクセスポイントで暗号化設定をしている場合は、暗号キーを入力します。

③[次へ]ボタンをクリックします。

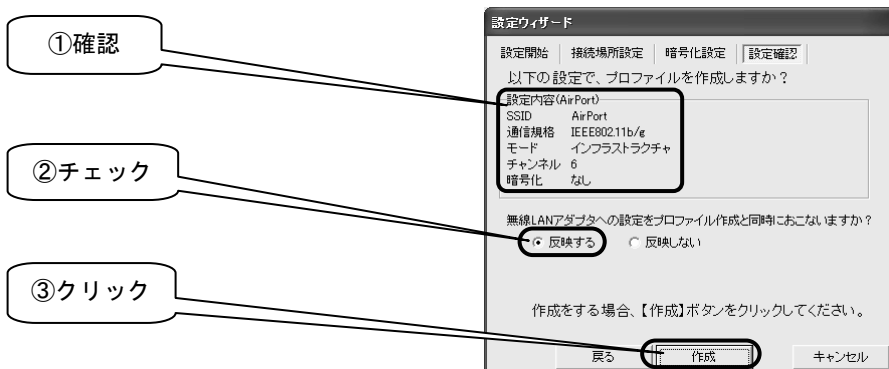
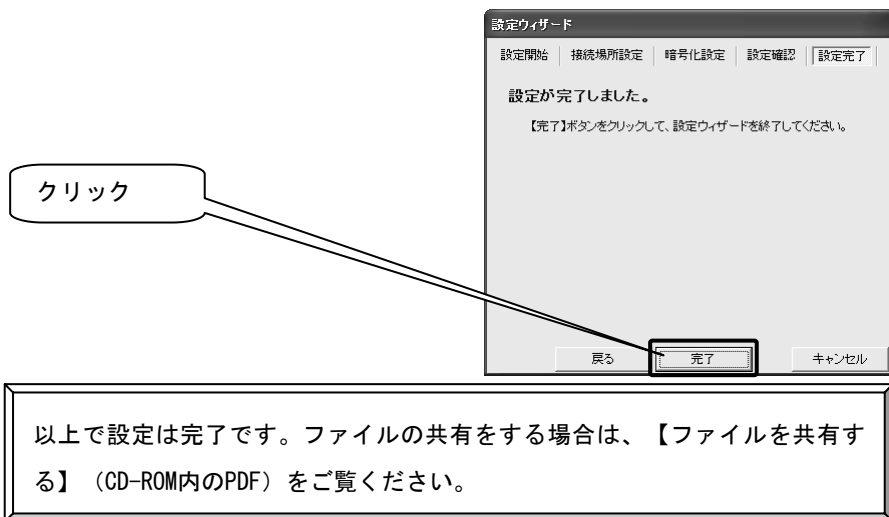
▼①[暗号化レベル]

なし	暗号化は行いません。
64 bit	64bitの暗号化を行います。
128 bit	128bitの暗号化を行います。

▼②[暗号化の設定]

入力するキー	暗号化をするためのキーを、16進数（0～9またはA～Fの文字列）を用いて入力します。(64bit：10文字、128bit：26文字) 設定する値は、本製品と通信する機器と同じ値にする必要があります。 すでに設定済みの機器と通信する場合は、設定済み機器の暗号キーの値を確認し、入力してください。 （詳しくは、【暗号化する】51ページ以降参照）

SSIDを通知しているアクセスポイントの場合(つづき)

8 設定内容を確認し、[反映する]にチェックを付けて、[作成]ボタンをクリックします。

9 [完了]ボタンをクリックします。

以上で設定は完了です。ファイルの共有をする場合は、【ファイルを共有する】（CD-ROM内のPDF）をご覧ください。

SSIDを通知していないアクセスポイントの場合

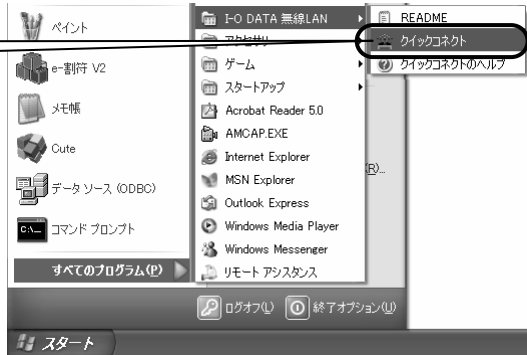
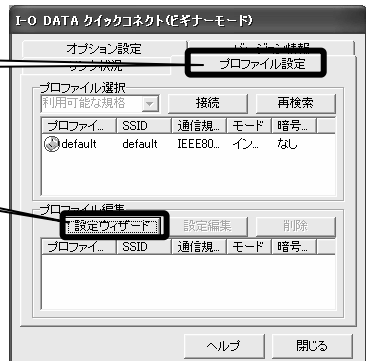
1 **アクセスポイントの電源が入っていることを確認します。**

2 **本製品を装着したパソコンの電源を入れます。**

本製品のランプが点灯/点滅することを確認してください。

【困ったときには】の
74ページをご覧ください。

3 **クイックコネクトを起動します。**

［スタート］→［すべてのプログラム］（［プログラム］）→
［I-O DATA 無線LAN］→［クイックコネクト］を順にクリックします。

4 **［プロファイル設定］タブで、［設定ウィザード］ボタンをクリックします。**

SSIDを通知していないアクセスポイントの場合(つづき)

5 **[プロファイル名]を入力して、[次へ]ボタンをクリック染ます。**

プロファイル名は半角文字100文字(全角文字50文字)までのお好きな名前を入力できます。

6 **接続先を設定します。**

①[手動設定]にチェックをつけます。

②[SSID]に16ページで確認したSSIDを入力します。

③[モード]で[インフラストラクチャ]を選択します。

④[次へ]ボタンをクリックします。

SSIDを通知していないアクセスポイントの場合（つづき）

7 暗号化設定をします。

①暗号化レベルを選択します。

②アクセスポイントで暗号化設定をしている場合は、暗号キーを入力します。

③[次へ]ボタンをクリックします。

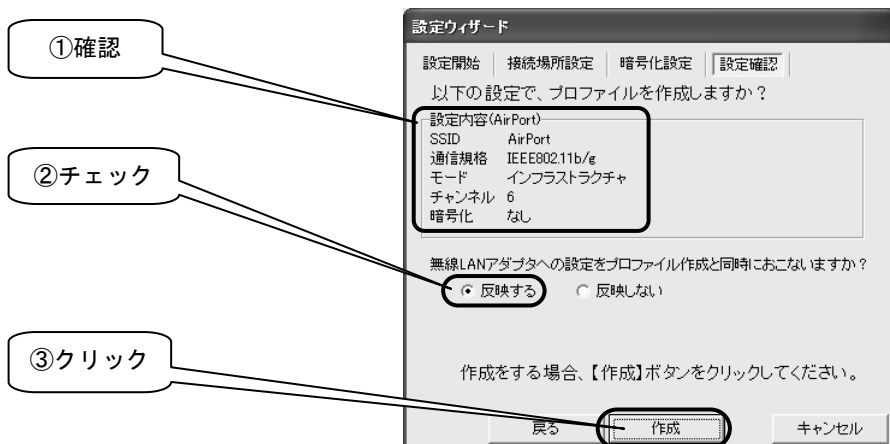
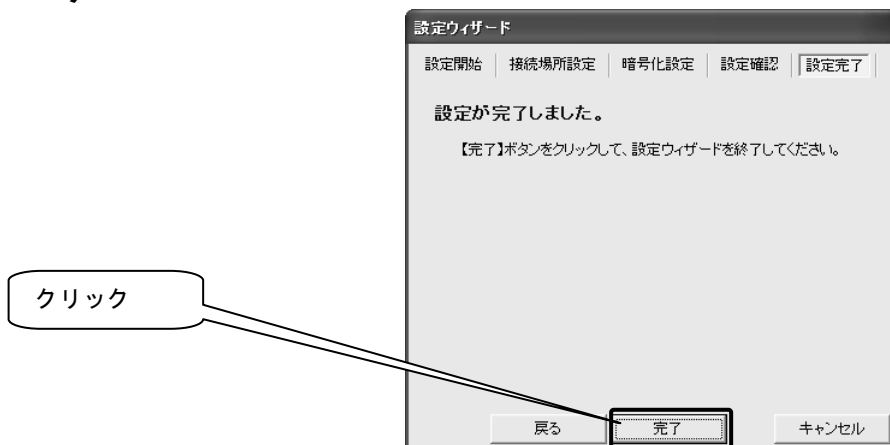
▼①[暗号化レベル]

なし	暗号化は行いません。
64 bit	64bitの暗号化を行います。
128 bit	128bitの暗号化を行います。

▼②[暗号化の設定]

入力するキー	暗号化をするためのキーを、16進数（0～9またはA～Fの文字列）を用いて入力します。(64bit：10文字、128bit：26文字) 設定する値は、本製品と通信する機器と同じ値にする必要があります。 すでに設定済みの機器と通信する場合は、設定済み機器の暗号キーの値を確認し、入力してください。 （詳しくは、【暗号化する】51ページ以降参照）

SSIDを通知していないアクセスポイントの場合（つづき）

8 設定内容を確認し、[反映する]にチェックを付けて、[作成]ボタンをクリックします。

9 [完了]ボタンをクリックします。

以上で設定は完了です。ファイルの共有をする場合は、【ファイルを共有する】（CD-ROM内のPDF）をご覧ください。

無線LANアダプタのみで通信する

アドホックモード

①使用環境を確認する

本製品を使用する環境を確認します。

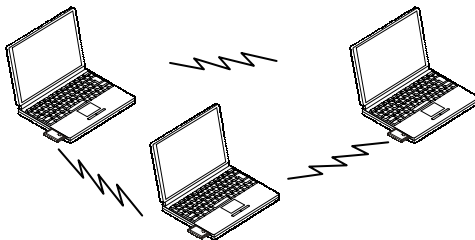
40ページ

②アドホックの設定をする

無線LANアダプタのみで通信する（アドホックモード）ための設定をします。

42ページ

アドホックモードとは？

図のようにアクセスポイントを介さずに、パソコン同士で直接通信し合う形態です。

参考

●Administrators権限（管理者権限）のあるユーザのみが設定できます。Users権限のユーザは、Administrators権限（管理者権限）のユーザが設定した内容で通信できます。（設定変更はできません。）
●本製品の設定をする際に、Windows XP標準の「ワイヤレスネットワーク接続」は使用しません。設定はすべて、本製品の設定ユーティリティで行います。

①使用環境を確認する

本製品を使用するには、SSIDを決める必要があります。

1 本製品を使用する環境を、以下から選び、チェックを付けます。

□ 新たにネットワークを構築する（１台目の導入）	□ 既存のネットワークで使用する（追加導入）
2 SSID（ESSID）を決めます。 任意のSSID（ESSID）を決め、下に書き込んでください。 （半角英数字32文字以内で設定します。大文字、小文字の区別もあります。）	ネットワーク管理者にSSID（ESSID）をご確認ください。 確認したSSID（ESSID）を下に書き込んでください。

▼決めた（確認した）SSID（ESSID）を記入してください。

※SSID(ESSID)は【②アドホックの設定をする】で使用します。

SSID(ESSID)	

3 使用するチャンネルを決めます。 チャンネルの選び方については、次ページをご覧ください。 決めたチャンネルを下に書き込んでください。	ネットワーク管理者にチャンネルをご確認ください。 確認したチャンネルを下に書き込んでください。

▼決めた（確認した）チャンネルを記入してください。

チャンネル	

※本製品で設定可能なチャンネルは1～13chとなります。

●SSIDとは？

複数の無線ネットワークが存在する場合に、それらをグループ化するための識別子（ID）です。SSIDが一致していないとそのネットワークには参加できません。アクセスポイントによっては、SSIDがESSIDと記載されている場合もあります。

●選択するチャンネルについて

2.4GHz 帯の無線では、IEEEE802.11ｇで 1～13 まで、IEEEE802.11b で 1～14 まで選択できます。

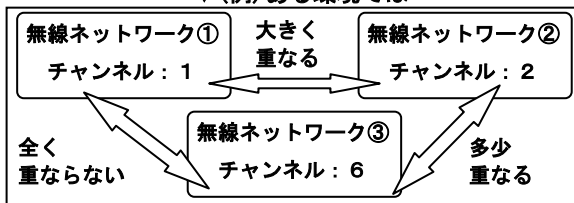
複数の無線ネットワークを使用する場合、隣り合ったチャンネルは、電波の帯域が重なるため通信にロスを生じます。

電波到達範囲内で複数の無線ネットワークが存在する場合は、以下の表をご覧になり、帯域が重ならないように設定することをおすすめします。

また、14ch（2473～2495MHz）は、IEEE802.11、IEEE802.11b で使用されている可能性がありますので、重ならないように設定することをおすすめします。

例）無線ネットワークが 3 つある場合は、それぞれ 1,6,11 チャンネルに設定

▼無線LANチャンネル一覧
（例：１チャンネルの場合、2401～2423MHzの帯域を使用します。）

▼(例)ある環境では

②アドホックの設定をする

無線LANアダプタのみで通信する（アドホックモード）ための設定をします。

注意！

複数の無線 LAN グループがある場合は、それぞれのネットワークで別々の通信チャンネルの値（ユーティリティで設定する［チャンネル］の値）を設定してください。（電波の干渉を防ぐため５チャンネル分間隔を空けることをおすすめします。）
通信チャンネルの値が他の無線LANグループと重なると、他の無線LANグループに通信の内容が流れる、あるいは他の無線LANグループの通信が来てしまいます。そのために起こったトラブルに対しては弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

弊社製WN-B11/PCMとアドホックで通信する場合は、WN-B11/PCMサポートソフトをバージョン1.04以降にしてご使用ください。

▼[１台目の導入]か[追加導入]よって設定方法が異なります

下記の該当するページをご覧ください。

１台目の導入の場合 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 次ページ

追加導入の場合 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 47ページ

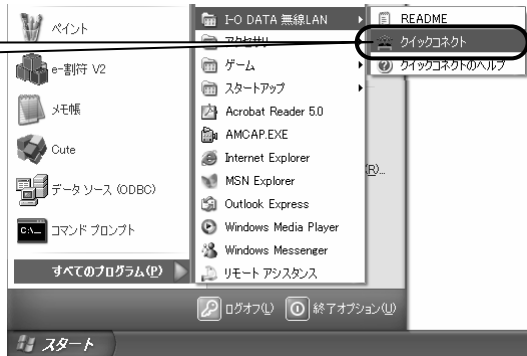
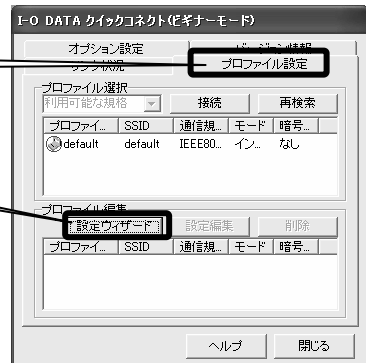
１台目の導入の場合

1 本製品を装着したパソコンの電源を入れます。

本製品のランプが点灯/点滅することを確認してください。

2 クイックコネクトを起動します。

［スタート］→［すべてのプログラム］（[プログラム]）→

［I-O DATA 無線LAN］→［クイックコネクト］を順にクリックします。

3 ［プロファイル設定］タブで、[設定ウィザード]ボタンをクリックします。

1台目の導入の場合(つづき)

4 [プロファイル名]を入力して、[次へ]ボタンをクリック染ます。

プロファイル名は半角文字100文字(全角文字50文字)までのお好きな名前を入力できます。

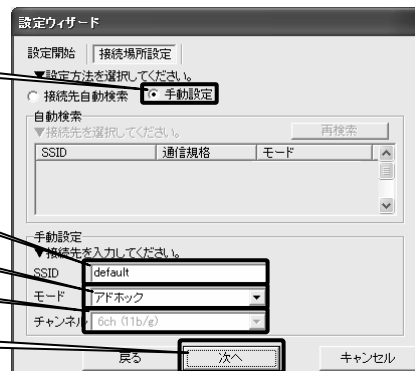
5 接続先を設定します。

①[手動設定]にチェックをつけます。

②[SSID]に40ページで決めたSSIDを入力します。

③[モード]で[アドホック]を選択します。

④[チャンネル]で40ページで決めたチャンネルを選択します。

⑤[次へ]ボタンをクリックします。

１台目の導入の場合（つづき）

6 暗号化設定をします。

①暗号化レベルを選択します。

②暗号化設定する場合は、暗号キーを入力します。

③[次へ]ボタンをクリックします。

▼①[暗号化レベル]

なし	暗号化は行いません。
64 bit	64bitの暗号化を行います。
128 bit	128bitの暗号化を行います。

▼②[暗号化の設定]

入力するキー	暗号化をするためのキーを、16進数（0～9またはA～Fの文字列）を用いて入力します。(64bit：10文字、128bit：26文字) 設定する値は、本製品と通信する機器と同じ値にする必要があります。 すでに設定済みの機器と通信する場合は、設定済み機器の暗号キーの値を確認し、入力してください。 （詳しくは、【暗号化する】51ページ以降参照）

１台目の導入の場合（つづき）

7 設定内容を確認し、[反映する]にチェックを付けて、[作成]ボタンをクリックします。

8 [完了]ボタンをクリックします。

以上で設定は完了です。ファイルの共有をする場合は、【ファイルを共有する】（CD-ROM内のPDF）をご覧ください。

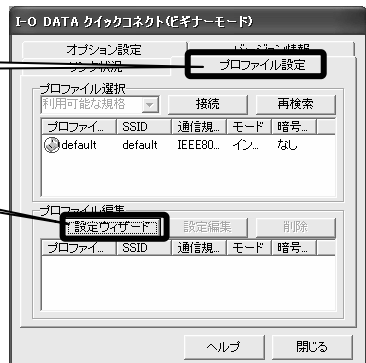
追加導入の場合

1 本製品を装着したパソコンの電源を入れます。

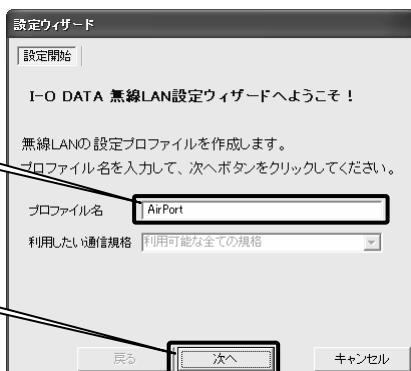
本製品のランプが点灯/点滅することを確認してください。

2 クイックコネクトを起動します。

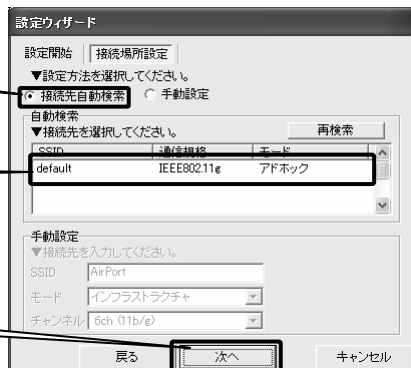
［スタート］→［すべてのプログラム］（［プログラム］）→
［I-O DATA 無線LAN］→［クイックコネクト］を順にクリックします。

3 ［プロファイル設定］タブで、［設定ウィザード］ボタンをクリックします。

追加導入の場合(つづき)

4 [プロファイル名]を入力して、[次へ]ボタンをクリックします。

プロファイル名は半角文字100文字(全角文字50文字)までのお好きな名前を入力できます。

5 接続先を選びます。

①[接続先自動検索]にチェックが付いていることを確認します。

②40ページで確認したSSIDの接続先を選択します。

③[次へ]ボタンをクリックします。

【困ったときには】の
84 ページをご覧ください。

追加導入の場合(つづき)

6 暗号化設定をします。

①暗号化レベルを選択します。

②暗号化設定をしている場合は、暗号キーを入力します。

③[次へ]ボタンをクリックします。

▼①[暗号化レベル]

なし	暗号化は行いません。
64 bit	64bitの暗号化を行います。
128 bit	128bitの暗号化を行います。

▼②[暗号化の設定]

入力するキー	暗号化をするためのキーを、16進数(0～9またはA～Fの文字列)を用いて入力します。(64bit:10文字、128bit:26文字) 設定する値は、本製品と通信する機器と同じ値にする必要があります。 すでに設定済みの機器と通信する場合は、設定済み機器の暗号キーの値を確認し、入力してください。 (詳しくは、【暗号化する】51ページ以降参照)

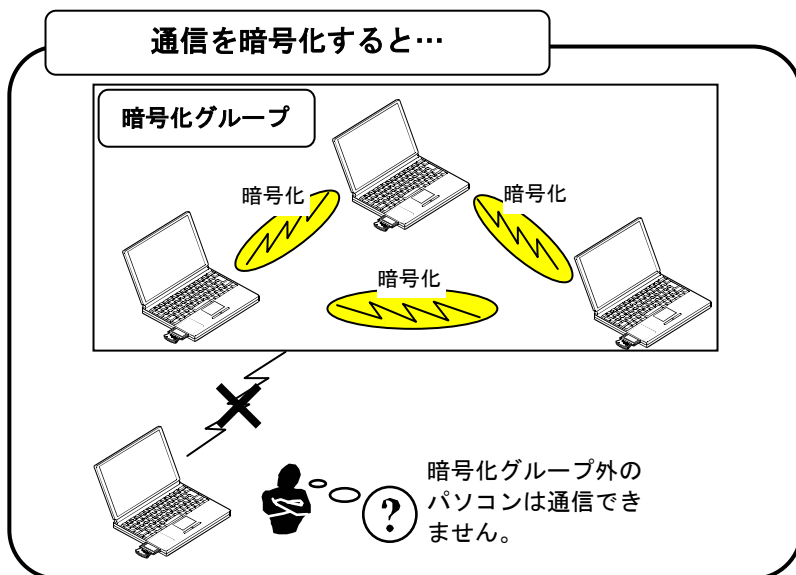
追加導入の場合(つづき)

7 設定内容を確認し、[反映する]にチェックを付けて、[作成]ボタンをクリックします。

8 [完了]ボタンをクリックします。

以上で設定は完了です。ファイルの共有をする場合は、【ファイルを共有する】（CD-ROM内のPDF）をご覧ください。

暗号化する

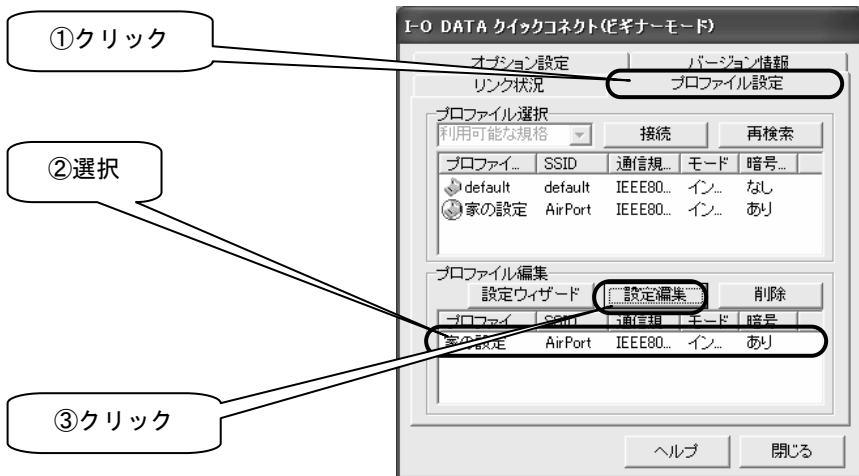
通信時に暗号化していない場合、電波の届く範囲であれば、通信内容を傍受される危険があります。本製品では、無線LANの暗号化の標準であるWEP（Wired Equivalent Privacy）での暗号化を行うことによって、傍受の危険を回避することができます。ここでは、本製品の通信を暗号化する方法を説明します。

暗号化を行う場合、暗号化して通信するすべてのパソコンで設定が必要です。アクセスポイントと通信する場合は、アクセスポイントの暗号キーに合わせてください。

暗号化する

1 クイックコネクトを起動します。

［スタート］→［すべてのプログラム］（［プログラム］）→
［I-O DATA 無線LAN］→［クイックコネクト］を順にクリックします。

2 ［プロファイル設定］タブで、暗号化したいプロファイルを選択して、［設定編集］ボタンをクリックします。

画面は、ビギナーモードの場合です。

3 暗号化の設定をします。

①[暗号化レベル]を選択します。

②[暗号化設定]をします。

③[設定保存]ボタンをクリックします。

▼①[暗号化レベル]

なし	暗号化は行いません。
64 bit	64bitの暗号化を行います。
128 bit	128bitの暗号化を行います。

▼②[暗号化の設定]

入力するキー	暗号化をするためのキーを、16進数（0～9またはA～Fの文字列）を用いて入力します。(64bit：10文字、128bit：26文字) 設定する値は、本製品と通信する機器と同じ値にする必要があります。 すでに設定済みの機器と通信する場合は、設定済み機器の暗号キーの値を確認し、入力してください。 （他社製品との暗号化については、56ページ参照）

プロフェッショナルモード

※プロフェッショナルモードについては65ページをご覧ください。

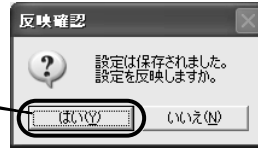
▼①[暗号化レベル]

なし	暗号化は行いません。
64 bit	64bitの暗号化を行います。
128 bit	128bitの暗号化を行います。

▼②[暗号化の設定]

認証方式	Open System…開放型認証方式 Shared Key…共有型認証方式 Auto（初期値）…上記の２つを自動判別
入力するキー	画面上で指定された文字数の暗号キーを入力します。 キー先頭のラジオボタンで、使用する暗号キーの番号（1～4）を選択します。通信相手とデフォルトキーを合わせてください。（通常は１） （他社製品との暗号化については、56ページ参照）
入力方式	入力方法を設定します。（ASCIIコード、16進数） ・16進数の場合は、0～9またはA～Fの文字列 ・ASCII文字の場合は、半角英数字 　　ASCIIコード　16進数 64bit　5文字　10文字 128bit　13文字　26文字

※ServicePack１にアップグレードしていないWindows XPでは、[キー]が、
弊社Web設定の標記と異なります。それぞれ以下のように読み替えてください。
64ビット=40ビット、128ビット＝104ビット
キー0=キー1、キー1=キー2、キー2=キー3、キー3=キー4

4 [はい]をクリックします。

これで暗号化設定はできました。

・暗号化を行う場合、暗号化で通信するすべてのパソコンで設定する必要があります。
・アクセスポイントと通信する場合は、アクセスポイントの暗号キーに合わせてください。
・設定後、画面を開いたときには、暗号キーは[＊]や[●]で表示されます。
・本製品のWEPキーは、WN-B11/PCMなどで使用していたパスフレーズとは互換性がありません。16進コードまたはASCIIコードのみ互換性があります。パスフレーズをご使用の場合は、[設定ユーティリティのヘルプ]をご覧ください。

暗号化の設定レベル（64bit、128bit）が高いほど強固な暗号化になります。

暗号キー入力方式の異なる他社製品との暗号化について

本製品を含む WN-G54 シリーズでは、暗号キーとして 16 進コードでの暗号キー入力方式を採用していますが、他社製品には、５文字の英数字・記号で暗号キーを指定する方式や、文字列から 16 進コードへ変換する際、本製品と変換方式の異なる製品があります。
これらの製品と暗号化を行う場合は、最初に英数字・記号の５文字で暗号キーに使用する文字列を決め、16 進コードを入力できない他社製品はこの５文字の文字列を入力します。
WN-G54 シリーズや 16 進コードを入力可能な他社製品にはこの５文字の文字列を下記対応表に基づき、16 進コードに変換したうえで入力することで通信可能となります。
各文字と 16 進コードの対応については下記の表を参照してください。
〈例〉 文字で ″WNG54″ と設定している場合、
16進コードでは [57 4e 47 35 34] となります。

文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進
!	21	／	2f	＝	3d	K	4b	Y	59	g	67	u	75
″	22	0	30	＞	3e	L	4c	Z	5a	h	68	v	76
#	23	1	31	?	3f	M	4d	[	5b	I	69	w	77
$	24	2	32	@	40	N	4e	¥	5c	j	6a	x	78
%	25	3	33	A	41	O	4f	]	5d	k	6b	y	79
&	26	4	34	B	42	P	50	^	5e	l	6c	z	7a
’	27	5	35	C	43	Q	51	_	5f	m	6d	{	7b
(	28	6	36	D	44	R	52	`	60	n	6e	|	7c
)	29	7	37	E	45	S	53	a	61	o	6f	}	7d
＊	2a	8	38	F	46	T	54	b	62	p	70	~	7e
+	2b	9	39	G	47	U	55	c	63	q	71		
,	2c	：	3a	H	48	V	56	d	64	r	72		
−	2d	；	3b	I	49	W	57	e	65	s	73		
.	2e	＜	3c	J	4a	X	58	f	66	t	74		

クイックコネクトを使う

クイックコネクトの各項目を説明します。

ビギナーモード

ビギナーモードの各項目を説明します。
本製品を使用する上で比較的簡単な設定ができます。

☞ 58ページ

プロフェッショナルモード

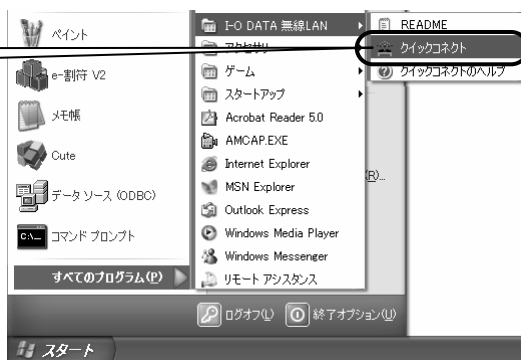
プロフェッショナルモードの各項目を説明します。
本製品を使用する上で比較的詳しい設定ができます。

☞ 65ページ

**Administrators権限（管理者権限）のあるユーザのみが設定できます。
Users権限のユーザは、Administrators権限（管理者権限）のユーザが
設定した内容で通信できます。（設定変更はできません。）
Users権限の環境で使用する場合は、あらかじめクイックコネクトが常駐しない設定にしておいてください。（63ページ参照）**

ビギナーモード

ユーティリティの起動方法

［スタート］→［すべてのプログラム］（［プログラム］）→［I-O DATA 無線LAN］→［クイックコネクト］を順にクリックします。

参考

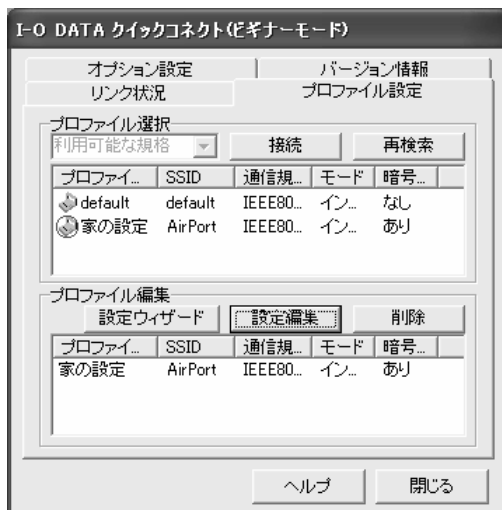
・【クイックコネクトの終了方法】
　タスクトレイに表示されるアイコンを右クリックして、[終了]をクリックしてください。
・クイックコネクトについては詳しくは、[クイックコネクトのヘルプ]をご覧ください。
・すでにクイックコネクトが常駐している場合は、タスクトレイのアイコンをクリックして、[設定画面]を選択してください。

リンク状況

項目		内容
アダプタステータス	SSID	現在設定されているSSID
	通信規格	現在通信している規格(IEEE802.11g、IEEE802.11b)
	モード	現在設定されているモード (インフラストラクチャ、アドホック)
	リンク速度	現在のリンク速度 (1/2/5.5/6/9/11/12/18/24/36/48/54 Mbps)
	チャンネル	現在のチャンネル(1～13ch)
	暗号化	現在設定されている暗号化のレベル (なし、64bit、128bit)
	状態	無線LANアダプタの状態を表示します。 (次ページの参考をご覧ください。)
通信状態	リンク品質	接続されている無線LAN機器とのリンク品質
	電波強度	接続されている無線LAN機器との電波の強度
統計情報		過去1分30秒の通信状況をグラフ化して表示します。 緑：電波強度、黄：リンク品質を表示します。

●[リンク状況]タブの[アダプタステータス]→[状態]一覧

状態	意味
接続中...	通信中
初期化中...	無線LANアダプタの初期化中
検索中...	使用できる無線LAN(設定のレンジ)を検索中
ログイン中...	設定された無線LANにログイン中
認証中	設定された無線 LAN に認証中(WEP などの暗号化が有効の場合)
接続処理中...	設定された無線LANに接続処理中
無線LANの範囲外です	設定された無線LANの範囲外
切断処理中...	設定された無線LANから切断処理中
切断中...	設定された無線LANから認証を開放中
再接続処理中...	設定された無線LANに再接続処理中
強制ログイン中...	設定された無線 LAN に強制的(存在の有無にかかわらず)にログイン中
再設定中...	無線LANアダプタの再設定中
F/W Upgrade中...	ファームウェアのアップグレード中
強制ログイン失敗	強制ログインの失敗
状態設定中...	無線LANアダプタを以前と同じ状態に再設定中
待機状態リセット	待機中の状態で無線LANアダプタをリセット中
設定の反映不可	無線LANアダプタに設定を反映できなかった場合
接続していません	その他、予定外の状態

プロファイル設定

項目	内容
[接続]ボタン	表示されている項目をクリックし、[接続]ボタンをクリックすると接続作業を行います。 →登録されているプロファイルを選択して、[接続]ボタンをクリックした場合、設定を変更し接続を試みます。
[再検索]ボタン	「利用可能な接続」を再検索します。
[設定ウィザード]ボタン	設定ウィザードでプロファイルを設定します。 インフラストラクチャの場合…29ページ アドホックの場合…39ページ
[設定編集]ボタン	登録されたプロファイルを編集します。次ページをご覧ください。
[削除]ボタン	選択したプロファイルを削除します。

プロファイル設定⇒[設定編集]

項目	内容
プロファイル名	プロファイル名を入力します。最大半角100文字(全角50文字)まで入力可能です。
特殊モード	通常はノーマルモードで使用します。 接続速度が自動的に切り変わらないなど、IEEE802.11bのWi-Fi取得機器と正常通信が行えない場合、強制的にIEEE802.11bのWi-Fiモードへ設定することができます。（ノーマルモード、Wi-Fiモード(11b)）
SSID	SSIDを入力します。半角英数字32文字まで、大文字、小文字の判別もします。 利用可能な接続で発見されたSSIDを選択することもできます。
モード	接続形式を選択します。 インフラストラクチャ：アクセスポイントとの通信形態 アドホック：無線LANアダプタ同士の通信形態
チャンネル	アドホックモードのときにチャンネルを選択できます。 (1～13ch)
暗号化レベル	【暗号化する】(51ページ)をご覧ください。

オプション設定

項目	内容
AutoRun機能	チェックをつけると、OS起動と同時に設定ユーティリティが起動し、常駐します。（システム負荷低減のため、チェックを外してもかまいません。）
設定ユーティリティのモード切替	通常はビギナーモードで使用します。 高度な設定を行いたいときは、プロフェッショナルモードにチェックを付けます。詳しくは【プロフェッショナルモード】（65ページ）をご覧ください。

バージョン情報

項目	内容
ドライババージョン	本製品のドライバのバージョンです。
ファームウェアバージョン	本製品のファームウェアのバージョンです。
ユーティリティバージョン	設定ユーティリティ「クイックコネクト」のバージョンです。
使用OSバージョン	お使いのパソコンのOSバージョンです。

プロフェッショナルモード

リンク状況

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td rowspan="6">アダプタ
ステータス</td><td>SSID</td><td>現在設定されているSSID</td></tr>
<tr><td>通信規格</td><td>現在通信している規格(IEEE802.11g、IEEE802.11b)</td></tr>
<tr><td>チャンネル</td><td>現在のチャンネル(1～13ch)</td></tr>
<tr><td>モード</td><td>現在設定されているモード
(インフラストラクチャ、アドホック)</td></tr>
<tr><td>リンク速度</td><td>現在のリンク速度
(1/2/5.5/6/9/11/12/18/24/36/48/54 Mbps)</td></tr>
<tr><td>状態</td><td>無線LANアダプタの状態を表示します。
(60ページの参考をご覧ください。)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">通信状態</td><td>リンク品質</td><td>接続されている無線LAN機器とのリンク品質
バーが多いほど高品質の通信を行っています。</td></tr>
<tr><td>電波強度</td><td>接続されている無線LAN機器との電波の強度
バーが多いほど強い電波を受信しています。</td></tr>
<tr><td colspan="2">統計情報</td><td>過去3分(初期設定時)の通信状況をグラフ化して表示します。通信状況を取得する間隔を変更できます。詳しくは69ページをご覧ください。
緑：電波強度、黄：リンク品質、赤：リンク速度</td></tr>
</table>

プロファイル設定

項目	内容
[接続]ボタン	表示されている項目をクリックし、[接続]ボタンをクリックすると接続作業を行います。 →登録されているプロファイルを選択して、[接続]ボタンをクリックした場合、設定を変更し接続を試みます。 →発見された接続を選択して、[接続]ボタンをクリックした場合、その設定をセットした[設定編集]画面が表示されます。（次ページ参照）
[再検索]ボタン	「利用可能な接続」を再検索します。
[設定ウィザード]ボタン	設定ウィザードで設定します。 インフラストラクチャの場合…29ページ アドホックの場合…39ページ
[新規作成]ボタン	プロファイルを新規作成します。
[設定編集]ボタン	登録されたプロファイルを編集します。次ページをご覧ください。
[削除]ボタン	選択したプロファイルを削除します。

プロファイル設定⇒[設定編集]

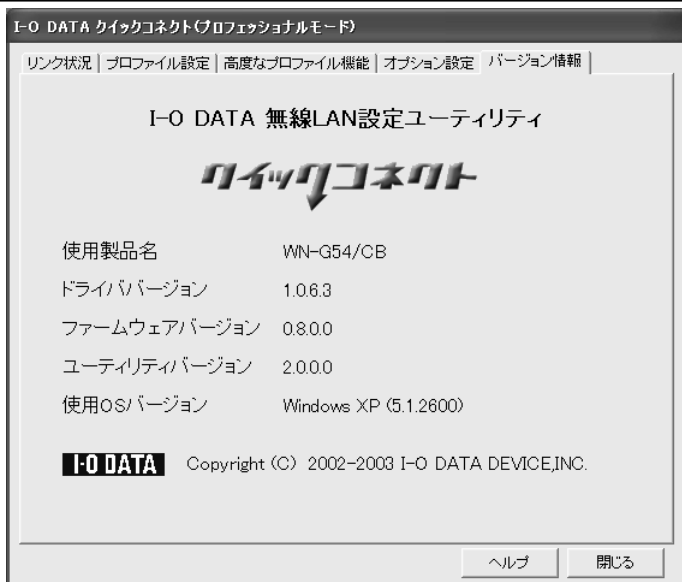
項目	内容
プロファイル名	プロファイル名を入力します。最大半角100文字(全角50文字)まで入力可能です。
特殊モード	通常はノーマルモードで使用します。 接続速度が自動的に切り変わらないなど、IEEE802.11bのWi-Fi取得機器と正常通信が行えない場合、強制的にIEEE802.11bのWi-Fiモードへ設定することができます。 （ノーマルモード、Wi-Fiモード(IEEE802.11b)）
モード	接続形式を選択します。 インフラストラクチャ：アクセスポイントとの通信形態 アドホック：無線LANアダプタ同士の通信形態
SSID	SSIDを入力します。半角英数字32文字まで、大文字、小文字の判別もします。利用可能な接続で発見されたSSIDを選択することもできます。
リンク速度	リンク速度を設定します。 （1/2/5.5/6/9/11/12/18/24/36/48/54Mbps）
通信規格	接続する通信規格を設定します。 （IEEE802.11g、IEEE802.11b）
チャンネル	アドホックモードのときにチャンネルを選択できます。 (1～13ch)
暗号化レベル	暗号化レベルを設定します。レベルが高いほど強固な暗号化になります。（なし、64bit、128bit）
暗号化設定	【暗号化する】(51ページ)をご覧ください。

高度なプロファイル設定

項目	内容
利用する プロファイル	標準で登録されている中で使用する設定です。 最大5個まで登録できます。
利用しない プロファイル	標準で登録されている中で使用しない設定です。 最大100個まで登録できます。
[有効]ボタン	[利用しないプロファイル]を有効にして[利用するプロファイル]へ移動します。
[無効]ボタン	[利用するプロファイル]を無効にして[利用しないプロファイル]へ移動します。
[アップデート] ボタン	無線LAN設定ユーティリティ用データ作成ツールで作成したプロファイルデータのアップデートを行います。

オプション設定

項目		内容
AutoRun機能		チェックすると、次回OS起動時から設定ユーティリティを自動実行し、常駐します。（システム負荷低減のため、チェックを外してもかまいません。）
クイックコネクトのモード切替		設定ユーティリティのモードを切り替えます。 ビギナーモード（初期値）：無線設定に必要な最低限の設定ができます。（【ビギナーモード】(58ページ参照)） プロフェッショナルモード：より高度な設定を行うことができます。
リンク状況設定	**ステータスを取得する間隔**	[リンク状況]タブの[統計情報](グラフ)の更新間隔と表示時間(過去何分を表示するか)を変更できます。 ▼[更新間隔：表示時間] [1秒：1分30秒]、[2秒：3分](初期値)、[5秒：7分30秒]、[10秒：15分]、[30秒：45分]、[停止：停止]
	統計情報表示リスト	チェックをすることにより、リンク速度、電波強度、リンク品質の３つのグラフの内、どのグラフを表示するかを設定できます。
画面色の設定		設定画面の配色を「Windowsでの設定に順ずる」「ブルー」「グリーン」の各色から設定ができます。

バージョン

項目	内容
ドライババージョン	本製品のドライバのバージョンです。
ファームウェアバージョン	本製品のファームウェアのバージョンです。
ユーティリティバージョン	設定ユーティリティ「クイックコネクト」のバージョンです。
使用OSバージョン	お使いのパソコンのOSバージョンです。

その他

困った時には

本製品を取り外す

本製品を削除する（アンインストール）

用語解説

仕様

アフターサービス

困った時には

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q＆A
Newsなど

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
サポートソフト

状態	参照ページ
インストールする前に本製品を接続してしまった	74
本製品を取り付けてもランプが点灯/点滅しない	74
［デバイスマネージャ］の確認で、［I-O DATA WN-G54/CB Wireless LAN Adapter］が表示されない	74
CD-ROMドライブがない、または、PCカード接続のCD-ROMドライブを使っているので、インストールできない	75
［デバイスマネージャ］の確認で、［I-O DATA WN-G54/CB Wireless LAN Adapter］の頭に、！マークがついている	77
設定ユーティリティがインストールできない	77
本製品が正常に動作しない	78
［ネットワーク］画面で、［I-O DATA WN-G54/CB Wireless LAN Adapter］が表示されない	78
無線LAN接続できない	79

状態	参照ページ
［マイネットワーク］（ネットワークコンピュータ）に、他のコンピュータ名が表示されない	79
「レジューム」「ハイバネーション」「スタンバイ」の後、動作が不安定になる	83
クイックコネクトで接続先のSSIDが見つからない	84
（Windows Me/98 SEのみ） ［ネットワーク］画面に、 ［TCP/IP－＞xxxxxxxx]は複数表示されているのに、 ［TCP/IP－＞I-O DATA WN-G54/CB Wireless LAN Adapter] が表示されていない	84
長時間使っていると、[リンク品質][電波強度]がほとんど0%になってしまい、通信できない	85
無線はつながっているが、通信はうまくいかない ・LAN上のパソコンにPINGを実行しても、[Request Timed Out] 　などになり接続できない ・インターネット接続ができない ・DHCPサーバからIPアドレスが取得できない	85

インストールする前に本製品を接続してしまった

対処	表示された画面を[キャンセル]ボタンをクリックして閉じてから、本製品を取り外し、【インストールする】(15ページ以降)ご覧になり、インストールしてください。

本製品を取り付けてもランプが点灯/点滅しない

原因１	本製品を取り付けているPCカードスロットの動作が不安定である。
対処１	別のPCカードスロットに取り付けてみてください。
対処２	クイックコネクトを起動する前に、一度パソコンを再起動してください。

原因２	省電力の機能がONになっている。
対処	本製品を取り外してから、省電力の機能をOFFにします。再度、本製品を取り付けてください。省電力の設定については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

［デバイスマネージャ］の確認で、
［I-O DATA WN-G54/CB Wireless LAN Adapter］が表示されない

原因１	本製品を取り付けていない、または、正しく取り付けていない。
対処	本製品を差し込んでいない状態では表示されません。本製品がPCカードスロットに差し込まれていることを確認してください。 タスクトレイ（画面右下）にPCカードアイコンがなければ、本製品をそのまま取り外して、もう一度取り付けてください。 タスクトレイにPCカードアイコンがあれば、87ページを参照し、カードを取り外し、再度取り付けてください。

原因２	[その他のデバイス]として認識している
対処	[その他のデバイス]内の[ネットワークコントローラ]を削除し、パソコンを再起動してください。

CD-ROMドライブがない、または、PCカード接続のCD-ROMドライブを使っているので、インストールできない

対処	下記の手順にしたがってください。

PCカード接続でCD-ROMドライブをお使いの場合

パソコンにPCカードスロットが1つのみで、かつPCカード接続のCD-ROMドライブをお使いの場合、インストール時にCD-ROMドライブが使えません。
以下の方法で「サポートソフト」の内容をハードディスクにコピーしておいてください。

1 **パソコンにCD-ROMドライブを接続し、パソコンの電源を入れます。**

2 **①エクスプローラを起動します。**

・Windows XPの場合

[スタート]→[すべてのプログラム]→［アクセサリ］→[エクスプローラ]を順にクリックします。

・Windows 2000の場合

[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]を順にクリックします。

・Windows Me/98 SEの場合

[スタート]→[プログラム]→[エクスプローラ]を順にクリックします。

②[すべてのファイルを表示する]に設定します。

1. ［ツール］メニューの［フォルダ オプション］を選びます。
2. ［表示］タブに移動し、［すべてのファイルとフォルダを表示する］をチェックします。（Windows XPの場合は、［表示］タブの［詳細設定］欄にあります。）
3. ［OK］ボタンをクリックします。

[ツール]メニューの[フォルダ オプション]が無い場合、以下の手順で設定します。
→①[表示]メニューの[フォルダ オプション]を選びます。
②[表示]タブの[すべてのファイルを表示する]をチェックします。
③[OK]ボタンをクリックします。

3 CD-ROMドライブに「サポートソフト」ディスクをセットします。

4 ハードディスクドライブ（Windowsなどがインストールされているドライブ）に、任意のフォルダ（ディレクトリ）を作成します。

5 「サポートソフト」ディスクの内容をすべて手順4 で作成したフォルダ（ディレクトリ）にコピーします。

インストールの手順内では、手順4で作成したフォルダを指定してください。

CD-ROMドライブがない場合

パソコンにCD-ROMドライブが無い場合は、以下を行ってください。

1 インターネット上の弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/lib/）より、本製品添付のサポートソフトのファイルを入手します。

2 ハードディスクドライブ（Windowsがインストールされているドライブ）に、任意のフォルダを作成し、入手したファイルをそのフォルダで展開してください。

インストールの手順内では、ここで作成したフォルダを指定してください。

［デバイスマネージャ］の確認で、［I-O DATA WN-G54/CB Wireless LAN Adapter］の頭に、！マークがついている

原因１	パソコンを再起動していない。
対処	本製品をPCカードスロットに挿入したまま、パソコンを再起動します。再起動後、再度確認してみてください。

原因２	ドライバのインストールが正しくない。
対処	下記の手順にしたがってください。 ①クイックインストーラを使用して、アンインストールをしてください。（【ドライバを削除する】(89ページ)参照） ②クイックインストーラで再度インストールをしてください。 （【インストールする】(15ページ)参照）

設定ユーティリティがインストールできない（以下のようなエラーとなる）

エラーメッセージ

「InstallShieldエンジン(iKernel.exe)をインストールできませんでした。
システムは、指定されたデバイスからは読み取れません。」

原因	パソコンに常駐しているアプリケーションが、InstallShieldの動作の妨げになっている。
対処	設定ユーティリティをインストールする場合のみ、常駐しているアプリケーションを常駐解除してください。 アプリケーションの常駐解除方法は、各アプリケーションの取扱説明書などをご覧ください。（「設定ユーティリティ」のインストール時のみのもので、インストール後は、常駐してもかまいません。）

本製品が正常に動作しない

原因１	本製品を取り付けていない、または、正しく取り付けていない。
対処	本製品がPCカードスロットに差し込まれていることを確認してください。タスクトレイ（画面右下）にPCカードアイコンがあれば、79ページを参照して、カードを取り出し、もう一度、取り付けてください。（タスクトレイにPCカードアイコンがない場合は、そのまま取り出してください。）

原因２	間違ったドライバがすでにインストールされている。
対処	［デバイスマネージャ］の一覧に［？その他のデバイス］がある場合、さらにその下に［イーサネットコントローラ］が無いかご確認ください。ある場合は、［イーサネットコントローラ］をクリックし、［削除］ボタンで削除後、パソコンを再起動してください。 （Windows XP、Widows 2000の場合は、［イーサネットコントローラ］を右クリックし、メニュー内の［削除］をクリックして削除後、パソコンを再起動してください。） 再起動後、再度インストールしてください。

対処	［デバイスマネージャ］一覧→［ネットワークアダプタ］の［イーサネットコントローラ］の頭に！マークがないかご確認ください。 ある場合は、前ページの【［デバイスマネージャ］の確認で、……の頭に、！マークがついている】での［対処］をご覧ください。

［ネットワーク］画面で、［I-O DATA WN-G54/CB Wireless LAN Adapter］が表示されない

対処	上記【本製品が正常に動作しない】をご覧ください。

無線LAN接続できない

原因１	相手側無線LAN機器の設定と本製品の設定が合っていない。
対処	相手側無線LAN機器と下記が一致していることをご確認ください。 「SSID」 「モード（InfrastructureかAd hoc）」 「WEP（暗号キー）」

原因２	有線LAN接続が影響している。
対処	お使いのパソコンで有線LAN接続を併用している場合は、有線LAN接続を無効にしてみてください。方法は、パソコンやLANアダプタの取扱説明書をご覧ください。

原因３	本製品のドライバが正しくインストールされていない。
対処	下記の手順にしたがってください。 ①本製品を削除してください。（【本製品を削除する（アンインストール）】（88ページ）参照） ②再度、はじめからインストールしてください。

[マイネットワーク]（ネットワークコンピュータ）に、他のコンピュータ名が表示されない

原因１	本製品を正しく取り付けていない。
対処	タスクトレイ（画面右下）にPCカードアイコン（またはハードウェアの取り外しアイコン）がなければ、本製品をそのまま取り外して、もう一度取り付けてください。PCカードアイコン（またはハードウェアの取り外しアイコン）があれば、87ページを参照して、カードを取り外し、もう１度、取り付けてください。正しく通信できていれば、本製品のACTランプが橙色に点灯/点滅します。

原因２	《アクセスポイントを使用していない場合》 通信先と同じSSIDを設定していない。
対処	通信先と同じSSIDに設定してください。

原因３	《アクセスポイントを使用していない場合》 通信先のパソコンの通信チャンネルの値を同一にしていない。
対処	アクセスポイントが無い場合は、通信先と同じ通信チャンネルにする必要があります。【クイックコネクトを使う】(57ページ)を参照して、通信チャンネルを同じ値にしてください。

原因４	《アクセスポイントを使用していない場合》 通信先のパソコンと同じワークグループ名が指定されていない。
対処	【ファイルを共有する】(CD-ROM内のPDF)の各OSの項を参照して、ネットワーク上のすべてのパソコンに対し、同じワークグループ名を指定してください。

原因５	《アクセスポイントを使用している場合》 アクセスポイントと同じSSIDを設定していない。
対処	アクセスポイントと通信する場合は、アクセスポイントと同じSSIDにする必要があります。SSIDを同じ値にしてください。

原因６	IPアドレスの設定が間違っている。
対処	正しい設定にしてください。（【ファイルを共有する】CD-ROM内のPDF参照）

原因７	無線状態が悪く、電波が届かない。
対処	無線間の距離を短くしたり、障害物を取り除いたり、通信チャンネルを変更してから、再度試してみてください。

原因８	セキュリティ関連のソフトウェアをインストールしている。
対処	セキュリティ関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。詳しくは、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

原因９	Windows Me/98 SEで、ネットワーク機能が正常に動作していない。
対処	次ページの【ネットワーク機能を確認する】を参照してください。

・ネットワーク機能を確認する

正常に組み込まれなかったネットワークに関するものを以下の順番で削除を行ってください。

1 [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[ネットワーク]を開きます。

2 [ネットワーク]画面に表示される内容を次ページの種類順に削除してください。

削除する順番が異なると、ネットワークがうまく構成し直せなくなる場合がありますので、必ず下記の順で削除してください。

<削除する順番>

1）サービスをすべて削除します。

[Microsoft ネットワーク共有サービス]など[xxxx 共有サービス]という名称のものが該当します。

サービスの削除後は、［ネットワーク］画面で［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。その後に、Windowsの再起動を要求されますので、再起動を行ってください。

2）クライアントをすべて削除します。

[Microsoft ネットワーククライアント]、[Microsoft ファミリログオン]など[xxxxクライアント]という名称のものが該当します。

［コントロールパネル］→［ネットワーク］を開いて、クライアントをすべて削除します。サービスの削除後は、［ネットワーク］画面で［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。その後に、Windowsの再起動を要求されますので、再起動を行ってください。

3）プロトコルをすべて削除します。

[TCP/IP(TCP/IP->xxxx)]、[NetBEUI(NetBEUI->xxxx)]、[IPX/SPX(IPX/SPX->xxxx)という名称のものが該当します。

プロトコルの削除後は、［ネットワーク］画面で［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。その後に、Windowsの再起動を要求されますので、再起動を行ってください。

3 ［コントロールパネル］→［ネットワーク］を開くと、アダプタ関連が残ります。その状態になりましたら、お客様が接続するネットワーク環境に必要なものを以下の順に追加を行います。

＜追加する順番＞

1）クライアントとプロトコルを追加します。

※クライアントを追加しますと、プロトコルも一緒に追加されます。

追加する方法は、以下の通りです。

① ［追加］ボタンをクリックします。
② ［クライアント］をクリック後、［追加］ボタンをクリックします。
③ ［製造元］で［Microsoft］を選択し、［クライアント］で必要なプロトコルの名称（［Microsoft ネットワーククライアント］など）をクリックし選択します。
④ ［OK］ボタンをクリックします。
⑤ クライアントとプロトコルが追加されたことを確認します。

2）サービスを追加します。

追加する方法は、以下の通りです。

① ［追加］ボタンをクリックします。
② ［サービス］をクリック後、［追加］ボタンをクリックします。
③ ［製造元］で［Microsoft］を選択し、［サービス］で必要なサービスの名称（［Microsoft ネットワーク共有サービス］など）をクリックし選択します。
④ ［OK］ボタンをクリックします。
⑤ サービスが追加されたことを確認します。

4 ［優先的にログオンする］は、上記にて追加し直したクライアントを選択してください。

5 以上の設定を行って再起動した際、ネットワークへのログオン画面が表示されると思います。ここでは、キャンセルせずに必ず［OK］ボタンをクリックしてください。（パスワードは未入力でも可）

以上で設定は終了です。

「レジューム」「ハイバネーション」「スタンバイ」の後、動作が不安定になる

対処	「レジューム」「ハイバネーション」「スタンバイ」を行わないように設定してください。

注意！

「レジューム」「ハイバネーション」はメーカー独自のユーティリティやパソコン本体のBIOS で設定している場合があります。
設定を変更するにはパソコン本体の取扱説明書をご覧になるか、パソコンメーカーにお問い合わせください。

「レジューム」とは…
→レジューム機能とは、しばらく何も操作しないでいたり、電源を入れたままノートパソコンのふたを閉めると自動的に働く省電力機能です。
レジューム機能の停止方法（Windows Me/98 SE の例）
①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[電源の管理]アイコンをダブルクリックします。
②[システムスタンバイ]欄の[電源に接続][バッテリを使用中]を共に「なし」に設定してください。

参考

「ハイバネーション」とは…
→ハイバネーション機能とは、ノートパソコンでバッテリーが残り少なくなると自動的に電源を切る直前の状態をハードディスクに保存しておき、電源を入れた時に元の状態に戻す機能です。
ハイバネーション機能が無効になるよう設定してください。

本製品を使用中は、スタンバイ機能に対応しているパソコンでは“[スタート]→[Windows の終了]”での[スタンバイ]は選択しないでください。

クイックコネクトで接続先のSSIDが見つからない

原因１	お使いのアクセスポイントがSSIDを通知しないタイプのものである。
対処	①[プロファイル]タブから[新規]ボタンをクリックします。 ②[設定編集]画面の［SSID］にお使いのアクセスポイントのSSIDを入力してください。詳しくは、【SSIDを通知していないアクセスポイントの場合】（35ページ）をご覧ください。

原因２	ビギナーモードで使用している
対処	ビギナーモードではSSIDは表示されません。（ウィザードでは表示されます。）プロフェッショナルモードに切り替えてご使用ください。（63ページ参照）

原因３	無線状態が悪く、電波が届かない。
対処	無線間の距離を短くしたり、障害物を取り除いたり、通信チャンネルを変更してから、再度試してみてください。

（Windows Me/98 SEのみ）
［ネットワーク］画面に、［TCP/IP－＞xxxxxxxx]は複数表示されているのに、［TCP/IP－＞I-O DATA WN-G54/CB Wireless LAN Adapter]が表示されていない

原因	登録されているLANアダプタの数が多い。 （登録できるLANアダプタの数には、制限があります。）
対処	[ネットワーク]画面で、必要の無い、あるいは使用していないLANアダプタをクリックして、［削除］ボタンで削除してください。 **●必要の無いLANアダプタの例** ・以前使用していたが、現在使用していないLANアダプタ ・赤外線通信を行わない場合の「赤外線通信アダプタ」 ※赤外線通信アダプタの名称は、パソコン本体により異なります。また、パソコン本体のBIOSの設定が必要となる場合がありますので、詳しくはパソコンメーカーにお問い合わせください。 ・インターネット・プロバイダに「AOL」を使用していない場合の「AOL Adapter」および「AOL Dialup Adapter」

長時間使っていると、[リンク品質][電波強度]がほとんど0%になってしまい、通信できない

原因１	近くに他の無線LANがあり、電波干渉を起こしている。
対処	無線のチャンネル設定を変更してお試しください。

原因２	通信相手機器と近づけて電波が安定する場合、周辺に鉄筋コンクリートなどの建物や木造でも金属やコンクリートを使ったものがあるため、電波が通りにくい。
対処	見通しの良い場所で周辺が鉄筋コンクリートで囲まれていない場所でお試しください。

無線はつながっているが、実際の通信はうまくいかない
・LAN上のパソコンにPINGを実行しても、[Request Timed Out]などになり接続できない
・インターネット接続ができない
・DHCPサーバからIPアドレスが取得できない

原因１	ご使用のパソコンに複数台のLANアダプタが搭載されている。 （Windows Me/98 SEのみ）
対処	以下の手順で、他の無線LANアダプタを[使用不可]にしてお試しください。 ①[マイコンピュータ]アイコンを右クリックし、表示されたメニューから、[プロパティ]をクリックします。 ②[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[ネットワークアダプタ]をダブルクリックします。 ③使用不可にするLANアダプタを右クリックし、表示されたメニューから[プロパティ]をクリックします。 ④[全般]タブの[デバイスの使用]内にある[このハードウェアプロファイルを使用不可にする]にチェックを付け、[OK]ボタンをクリックします。 ⑤[デバイスマネージャ]を閉じ、パソコンを再起動します。

原因２	WEP（暗号化）設定が間違っている
対処	通信相手（アクセスポイントや無線LANアダプタ）と本製品のWEP（暗号化）設定を「なし(無効)」に設定し、通信できることを確認します。 通信できる場合は、再度WEP（暗号化）設定をご確認ください。

原因３	セキュリティ関連のソフトウェアをインストールしている。
対処	セキュリティ関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。詳しくは、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

本製品を取り外す

本製品は、パソコンの電源を切った後にPCカードスロットから取り外すことができますが、使用中に取り外すこともできます。

・本製品を取り外す場合は、本製品を使用していない、また、他のパソコンからアクセスされていないことを確認してから取り外してください。
・以下の手順を行うと、実際に本製品をPCカードスロットから抜かなくても動作は終了したとみなされ、本製品は使用できなくなります。
再度使用したい場合は、いったんPCカードスロットから本製品を抜いて、再び接続してください。

Windows使用中に取り外す場合

1 画面右下のタスクトレイの （または ）アイコンをクリックし、［I-O DATA WN-G54/CB…］をクリックします。

2 ［OK］ボタンをクリックします。

Windows XPの場合は、確認画面が表示されますので、内容をご確認ください。

3 本製品をPCカードスロットから取り外します。

再度使う場合は、そのまま挿入してください。

本製品を削除する(アンインストール)

クイックコネクトを削除する

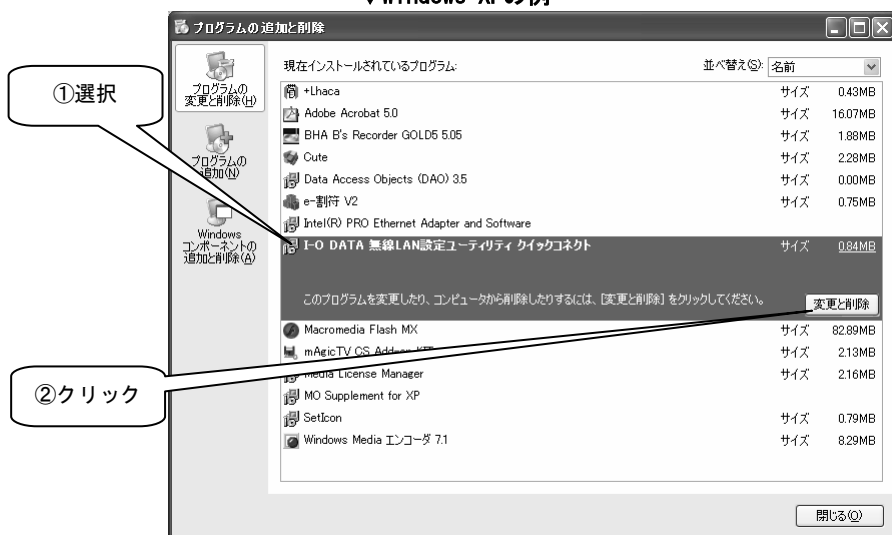
クイックコネクトを削除する前に、必ずクイックコネクトを終了しておいてください。
(タスクトレイに表示されるアイコンを右クリックして、[終了]をクリックしてください。)

1 **[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]([プログラムの追加と削除])を開きます。**

2 **クイックコネクトを削除します。**

①[I-O DATA無線LAN設定ユーティリティ クイックコネクト]を選択します。

②[変更と削除]([変更/削除]や[追加と削除])ボタンをクリックします。

▼Windows XPの例

後は画面の指示にしたがってください。

これでクイックコネクトの削除は完了です。

ドライバを削除する

本製品は取り付けたままにしておいてください。

●Windows XP/Me/98 SEの場合　（Windows 2000の場合は91ページ）

（画面例はWindows XPのものです）

1　[デバイスマネージャ]を起動します。

Windows XPの場合

①[スタート]から[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

②[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

Windows Me/98 SEの場合

①[マイコンピュータ]アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

②[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

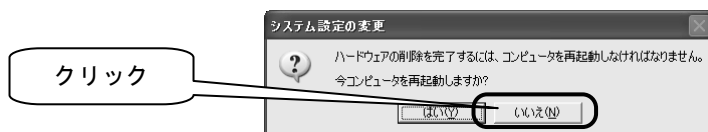
2　[I-O DATA WN-G54/CB Wireless LAN Adapter] を削除します。

① [ネットワークアダプタ] をダブルクリックします。

② [I-O DATA WN-G54/CB Wireless LAN Adapter] を右クリックします。

③表示された [削除] をクリックします。

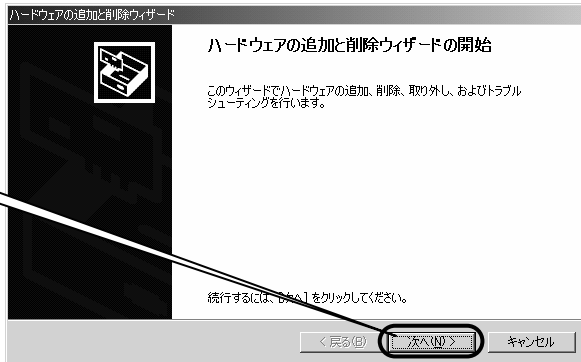
3 [OK] ボタンをクリックします。

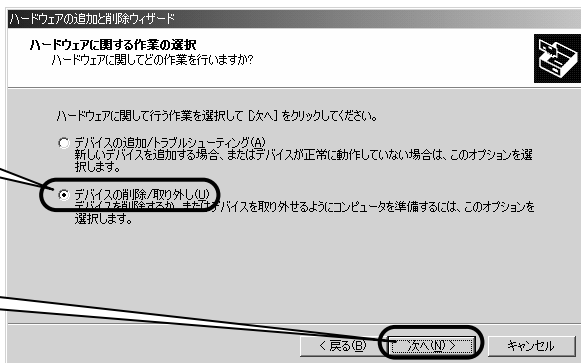
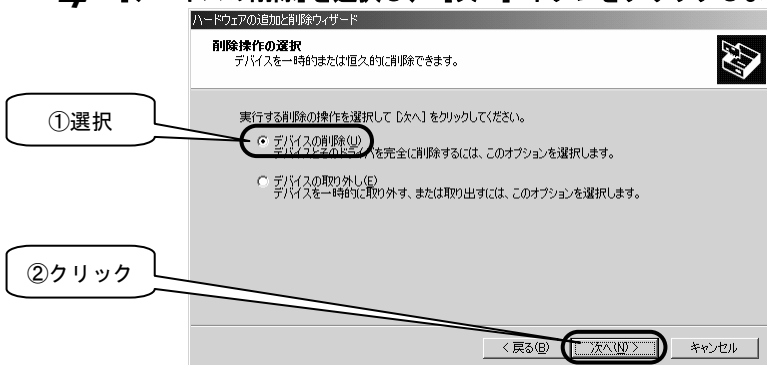
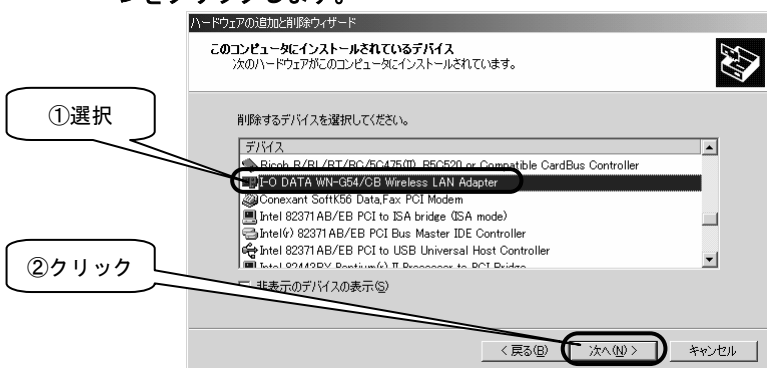
4 再起動の画面が表示される場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。

この後、パソコンの電源を切らずに[INFファイルを削除する]（94ページ）へお進みください。

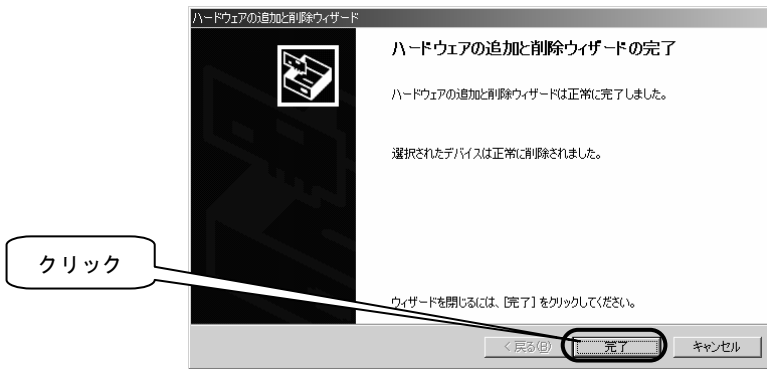
●Windows 2000の場合

「Administrators 権限」でログオンしてください。

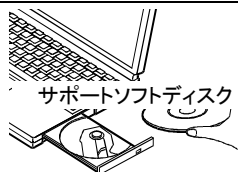
1 ［ハードウェアの追加と削除］を起動します。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を順にクリックし、［ハードウェアの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

2 ［次へ］ボタンをクリックします。

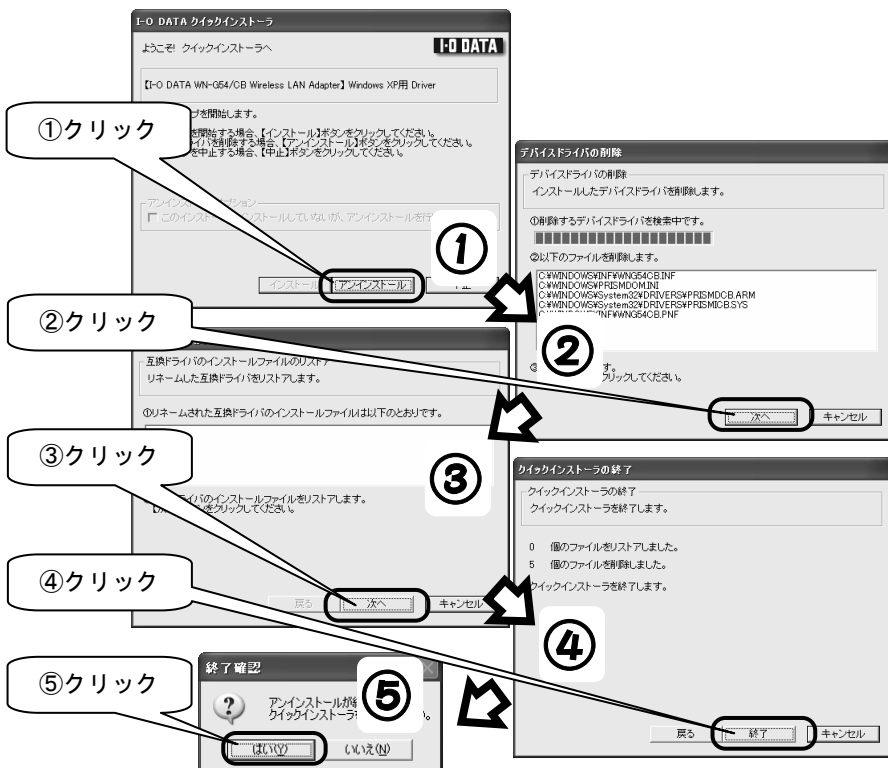
3 ［デバイスの削除/取り外し］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［デバイスの削除］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

5 ［I-O DATA WN-G54/CB Wireless LAN Adapter］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

6 ［はい、このデバイスを削除します］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

7 ［完了］ボタンをクリックします。

この後、パソコンの電源を切らずに[INFファイルを削除する]（次ページ）へお進みください。

●「INFファイル」を削除する

1 サポートソフトディスクをCD-ROMドライブにセットします。

2 [マイコンピュータ]から、CD-ROMの[NDDSETUP]アイコンをダブルクリックします。

3 「INFファイル」をアンインストールします。
画面の指示にしたがってください。

①クリック
②クリック
③クリック
④クリック
⑤クリック

これでドライバの削除は完了です。

用語解説

Ad hoc[アドホック]

アクセスポイントを介さずに、パソコン同士が直接通信しあう形態です。
他にインフラストラクチャモード（Infrastructure mode）があります。

DHCPサーバ(Dynamic Host Configuration Protocol Server)

DHCPとは各クライアントやEthernet機器へ起動時に動的にIPアドレスを割り当て、
終了時にIPアドレスを回収するためのプロトコルです。
同時にゲートウェイアドレスやドメイン名、サブネットマスクその他の情報を
ネットワーク上のクライアントやEthernet機器へ通知することもできます。

この動的にIPアドレスの割当を行う側の機器がDHCPサーバと呼ばれます。
ダイアルアップルータ等の機器もDHCPサーバの機能を持っています。

DS-SS[直接拡散・スペクトラム拡散方式]

スペクトラム方式の１つです。
干渉がおきにくい、ノイズの影響を受けにくい、などの特徴があります。

Ethernet[イーサネット]

米国ゼロックス社、ディジタル・イクイップメント社、インテル社によって開発されたネットワーク通信方式です。当初この方式は、基礎帯域伝達、CSMA/CDアクセス、論理バストポロジー、同軸ケーブルを使用して構成されていました。
後にIEEE802.3として規格化され、光ファイバー、広周波数帯域、ツイストペアで運用するリピータなどを使って拡張する追加機能が定義されました。

IEEE802.11

IEEE（The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.）という非営利団体が定める無線LANの国際的な標準規格です。
IEEE802.11bでは、通信速度が11Mbpsまで拡張されています。
IEEE802.11gでは、通信速度が54Mbpsまで拡張されています。

Infrastructure［インフラストラクチャ］

アクセスポイントを介して通信する形態です。

MACアドレス（Media Access Control Address）

Ethernet機器ごとの固有の物理アドレスです。
MACアドレスは、先頭からの３バイトのベンダーコードと残り３バイトのユーザコードの６バイトで構成されています。
ベンダーコードはIEEEが管理／割当を行っており、ユーザコードは、Ethernet機器のメーカーが独自の番号（重複することのない）で管理を行い、世界中で単一のアドレスが割り当てられています。
Ethernetではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行っています。

Mbps（Megabits per second）［メガビーピーエス］

１秒間に伝送するデータの単位です。
54Mbpsは１秒間に54メガビットのデータを伝送できます。

OFDM［オーエフディーエム］

Orthogonal Frequency Division Multiplex（直交周波数分割多重）のことです。

SSID（Service Set ID）［エスエスアイディー］

複数の無線ネットワークが存在する場合に、それらをグループ化するための識別子（ID）です。このIDが一致していないとそのネットワークには参加できません。
SSIDがESSIDと記載されている場合もあります。

TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）

主にインターネット上などで使用される基本プロトコルの１つです。

WEP（Wired Equivalent Privacy）

IEEEにて規定されている標準の暗号化方式です。
各無線通信機器同士が共通の暗号鍵を使用して通信データを暗号化します。
暗号鍵を知らないパソコンは通信に参加することができません。

アクセスポイント

インフラストラクチャモード（Infrastructure mode）での通信の中継点となるポイントです。
有線LAN接続のパソコンでは、アクセスポイントと通信することで無線LAN接続のパソコンと通信します。
有線LANと無線LANの中継点ともなります。

チャンネル

無線通信では、使用する周波数帯域を分割して、それぞれの帯域で異なる通信を行うことができます。
チャンネルとは、その分割された個々の周波数帯域のことです。

ピアツーピア接続

サーバ／クライアントのような上下関係の無い対等な関係で行う通信のことです。

ローミング機能

複数のアクセスポイントを設置した環境で、各アクセスポイントのサービスエリア間を移動した場合に、自動的にアクセスポイントを切り替える機能です。
その場合、それぞれのアクセスポイントのSSIDとWEPが同じ設定である必要があります。

仕様

商品名	IEEE802.11g※、IEEE802.11b 無線LAN PCカード
製品型番	WN-G54/CB
規格	IEEE802.11g※, IEEE802.11b
周波数帯域	2.4GHz帯　（2.4～2.4835GHz）
チャンネル	1ch～13ch
変調方式	IEEE802.11g※：直交波周波数分割多重方式(OFDM) IEEE802.11b　：直接拡散・スペクトラム拡散方式(DS-SS)
伝送速度	IEEE802.11g※：6/9/12/18/24/36/48/54Mbps IEEE802.11b　：1/2/5.5/11Mbps
無線設備の種別	小電力データ通信システム
データ到達距離（最大）	屋内：約100m、屋外：約300m ※環境条件により変化します。
セキュリティ方式	WEP（Wired Equivalent Privacy）， SSID（Service Set ID） ※SSIDはアクセスポイント使用時
アクセス方式	アドホック（Ad hoc） インフラストラクチャ（Infrastructure） ※インフラストラクチャはアクセスポイント使用時
ＬＥＤ表示	LINK、ACT
ホストインターフェイス	PCMCIA PC CARD TYPEⅡ（CardBus）
使用電源	DC3.3V±0.3V
消費電流	送信：最大490mA 受信：最大340mA
使用温度範囲	0℃～+55℃(パソコンが動作する温度範囲であること)
使用湿度範囲	10%～85%（結露しないこと）
外形寸法	約54（W）×119（D）×9(H)mm（アンテナ部含む）
質量	約42g
適応規格	TELEC

※IEEE802.11gは2003年4月現在ドラフトです。IEEEによる正式承認後、弊社Webサイトにて正式にご案内いたします。

アフターサービス

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困った時には】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsなど」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

http://www.iodata.jp/support/

製品Ｑ＆Ａ
Newsなど

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
サポートソフト

② それでも解決できない場合は…

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター
電話： 本社…076-260-3644 東京…03-3254-1144
※受付時間 9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX： 本社…076-260-3360 東京…03-3254-9055
インターネット： http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1．ご使用の弊社製品名
2．ご使用のパソコン本体の型番
3．ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4．トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。

故障と判断された場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について
・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理について（つづき）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください
お送りいただく製品の製品名、シリアル番号、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください
・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］，日中にご連絡できるお電話番号，ご使用環境（機器構成、OSなど），故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください
・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください
・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。